

令和３年度　全国中学校体育大会

第51回全国中学校バドミントン大会

大会報告書

関東の蒼空（そら）へと放て君の夢

令和３年８月20日（金）～23日（月）

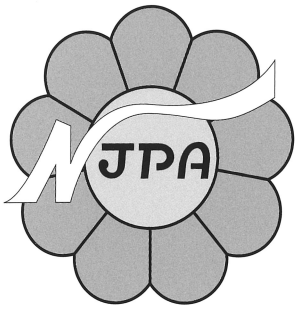
会　場　小瀬スポーツ公園　体育館
〒400-0836　山梨県甲府市小瀬町 840 番地　　TEL　055-243-3111

主　催　公益財団法人日本中学校体育連盟　公益財団法人日本バドミントン協会
山梨県教育委員会　甲府市教育委員会

主　管　関東中学校体育連盟　山梨県小中学校体育連盟　山梨県バドミントン協会

後　援　スポーツ庁・全日本中学校長会・全国都道府県教育長協議会・全国市町村教育委員会連合会・公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会
日本私立中学高等学校連合会・ＮＨＫ・全国新聞社事業協議会・読売新聞社・毎日新聞社・山梨県・甲府市・笛吹市
山梨県公立小中学校長会・公益財団法人山梨県スポーツ協会・公益財団法人甲府市スポーツ協会・山梨県ＰＴＡ協議会
山梨日日新聞社・山梨放送・テレビ山梨

公益財団法人日本中体連シンボルマーク



「明るく希望にもえ躍動する姿」をイメージし、全国都道府県中体連と９つのブロック中体連を表し、Nippon Junior High School Physical Culture Association の頭文字を中心に図案化した。

中心の円の赤は、情熱・希望を表し、円を縁どる九輪を青（コバルトブルー）とし、未来への限りなき躍進、Ｎの文字には白色を配し、若人のもつ純真さを表した。

公益財団法人 日本中学校体育連盟憲章

公益財団法人日本中学校体育連盟は、連帯と協調の固い結束により、法人として国の内外における責任と義務を遂行し、国民の信託に応えるべく、ここに会員の総意を結集して、この憲章を定める。

１．体育・スポーツ活動を通して、人間尊重の精神にみち、心豊かな人間の育成に努める。
１．体育・スポーツ文化の継承とその進展に寄与し、生涯スポーツ活動の推進に努める。
１．体育・スポーツの国際交流を通して、中学生の国際理解の推進と国際スポーツの振興に努める。

公益財団法人日本中学校体育連盟指導者綱領

１．中学校における体育・スポーツ活動を通して、人間性豊かな中学生を育てる。
１．中学校における体育・スポーツ活動を通して、強健な心身をもつ中学生を育てる。
１．中学校における体育・スポーツ活動を通して、将来にわたって自己実現できる中学生を育てる。
１．体育・スポーツの国際交流を通して、国際理解と協調の精神に富む中学生を育てる。

公益財団法人日本中学校体育連盟生徒綱領

１．わたしたちは、体育・スポーツを行い、社会に尽くすよう努めます。
１．わたしたちは、体育・スポーツを行い、強い体と心を養います。
１．わたしたちは、体育・スポーツを行い、生涯にわたってスポーツを愛好します。
１．わたしたちは、体育・スポーツを行い、世界の友との友情を深め平和を目指します。

公益財団法人 日本中学校体育連盟歌

われら日本中体連（にっぽんちゅうたいれん）

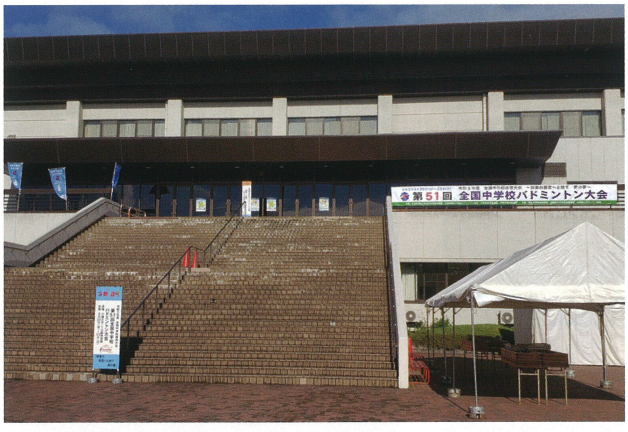
作詞　黒木　昊
作曲　山岡　周子
編曲　丹代　徹

1　赤い太陽しゃく熱の
勝利の勲夢に見て
体を鍛え技を錬る
輝く汗を流すかな
われら日本中体連（にっぽんちゅうたいれん）

2　白い景雲（けいうん）大空の
郷土の誇担いつつ
若き心を培いて
力と意気を示すかな
われら日本中体連

3　青い地球ひとびとの
平和の願胸に秘め
世界の友と手をとりて
スポーツ文化を築くかな
われら日本中体連

会場の様子　開始式

















写真提供：プロフォートサニー

熱戦の様子


















写真提供：プロフォートサニー

熱戦の様子

















写真提供：プロフォートサニー

各種目の優勝者







女子シングルス
優勝　宮崎友花



女子ダブルス
優勝　上野凛・垣内杏南



女子団体
優勝　青森山田中学校



男子シングルス
優勝　澤田修志



男子ダブルス
優勝　中静悠斗・藤吉珠李



男子団体
優勝　埼玉栄中学校





写真提供：プロフォートサニー

目　　次

日本中学校体育連盟憲章

大会スナップ写真

御礼のあいさつ　令和３年度全国中学校体育大会　バドミントン実行委員長　仙洞田和男 …… 2

大会講評　（公財）日本中学校体育連盟　バドミントン競技部長 …… 3

大会要項 …… 4

大会役員 …… 8

競技役員 …… 12

タイムテーブル …… 14

大会日程・式次第 …… 15

大会報告書 …… 16

試合結果　男子団体戦【ＢＴ】 …… 17

男子団体戦詳細 …… 18

女子団体戦【ＧＴ】 …… 20

女子団体戦詳細 …… 21

男子シングルス【ＢＳ】 …… 23

女子シングルス【ＧＳ】 …… 24

男子ダブルス【ＢＤ】 …… 25

女子ダブルス【ＧＤ】 …… 26

大会回顧 …… 27

大会スローガン　関東の　蒼空（そら）へと放て　君の夢

大会を振り返って



令和３年全国中学校体育大会
第51回全国中学校バドミントン大会
山梨大会実行委員長
仙洞田和男

「関東の蒼空へと放て　君の夢」のスローガンのもと、令和３年度全国中学校体育大会第５１回全国中学校バドミントン大会を、８月２０日～２３日の４日間にわたり開催いたしました。

中学校教育の一環として開かれる大会の中でも、最高峰のスポーツイベントとなる本大会へは、日本の頂点を目指す若き精鋭として全国から３００人を超える選手が集結しました。そして、最高峰の大会にふさわしく正々堂々、さわやかではつらつとしたすばらしいプレーが繰り広げられました。また、選手をはじめ大会を支える生徒役員も含めた多くの中学生が、全国の仲間たちと互いの交流の輪を広げることができました。

大会開催にあたり、私どもは昨年度１０月より準備室を開設し、選手の皆さんが夢の「大舞台」で心おきなく力が発揮でき、感動的な思い出深い大会となれるよう、関係する各学校、諸機関の皆様とともに準備を重ねてまいりました。不備な点も多々ございましたが、皆様のご協力により無事に大会を終えることができました。誠にありがとうございました。

さて、本大会において見事日本一に輝いたのは、男子団体・埼玉栄中学校、女子団体・青森山田中学校、男子シングルス・澤田修志（埼玉栄中学校）、女子シングルス・宮崎友花（山口県柳井中学校）、男子ダブルス・中静悠斗・藤吉珠李ペア（福島県ふたば未来中学校）、女子ダブルス・上野凛・垣内杏南ペア（埼玉栄中学校）でした。いずれも高い技能と精神力を感じることのできるすばらしい選手たちでした。これまで指導に携り、支えてこられた監督・コーチ・保護者そして関係する全ての皆様に敬意を表します。また、惜しくも敗退してしまった選手の皆さんも、これに負けない、気迫のこもったプレーだったからこそ、本大会が最高峰としてすばらしいものになったのだと思います。

結びに、本大会の開催においては、（公財）日本中学校体育連盟、（公財）日本バドミントン協会、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会をはじめ、関係機関や関係者の方々に多大なるご指導ご支援を賜わりました。あわせて大会役員、競技役員、地元中学校の生徒役員の皆様には献身的なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。選手の皆さんのさらなるご成長と、次年度開催の青森県大会のご成功をお祈りし、大会終了のあいさつとさせていただきます。

今できること 大会開催に感謝



公益財団法人日本中学校体育連盟
バドミントン競技部長
関　根　冬　藏

山梨の英雄である武田信玄公の生誕５００年を迎えた今年。２年ぶり、そして山梨県で初の中学生の全国大会となる第５１回全国中学校バドミントン大会が、『関東の　蒼空へと放て　君の夢』のスローガンの下、８月２０～２３日、山梨県甲府市小瀬スポーツ公園体育館で開かれ、中学生の日本一を賭けた熱戦が繰り広げられた。会場には、バドミントン専用コートマット１０面が敷設され、エアコンによる室温調整を行うなど、参加者（選手・応援・役員）の健康や安全を第一に考えた環境であった。

今大会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに基づき、大会に関係する全ての方々のいのちと安全を守るために、できうる限りの感染防止対策が講じられた。無観客での大会開催、開閉会式を実施せずに開始式と表彰のみとする、検温やアルコール消毒、会場内の受付や警備計画等。また、新型コロナウイルス感染防止を考え、応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止とした。観客席についても参加校ごとに座席位置を指定し、座席を移動することも禁止した。感染拡大に伴い、大会１週間前に中高生の生徒役員の招集を断念せざるを得ず、出場選手に審判・得点係等の協力を仰ぐことになった。感染症陽性者の発生後の対応については、ガイドラインに基づき、実行委員会を中心に迅速に対応していただいた。「感染回避」と「子どもたちのために」の両立を求めた大会であったが、国内の感染症状況が刻々と変化する中、参加者全員の身の安全を考えると、新型コロナウイルス対策に関する今後の課題が残る。

大会運営では、競技・審判・記録の３部門の連携は素晴らしかった。競技中に起こった様々な事柄に対しては、レフェリーが中心となって地元実行委員会と連携し、適宜、臨機応変な対応を心がけた完成度の高い大会であった。また、数々の熱戦の中、レベルの高いジャッジをしていただいた山梨県バドミントン協会をはじめとする審判員の皆さん、関東各都県からの依頼審判員のみなさんにも感謝申し上げたい。

競技面では、男子団体は、決勝で宿敵・ふたば未来学園（福島）を撃破した埼玉栄（埼玉）が６年ぶり８回目の優勝。女子団体決勝は、東北ブロック大会と同カードとなり、青森山田（青森）がふたば未来学園（福島）を破って悲願の初優勝を飾った。個人戦の男子シングルスは、２年生の澤田修志が三浦大地との「埼玉栄対決」を制して頂点に立った。女子シングルスは、宮崎友花（山口・柳井）が玉木亜弥（大阪・四天王寺）を破って全国初タイトル。柳井勢が２大会続けて優勝した。男子ダブルスは中静悠斗＆藤吉珠李（ふたば未来学園）が有江琥珀＆稲川蓮二郎（埼玉栄）を破り団体戦のリベンジを果たした。女子ダブルスは上野凛＆垣内杏南（埼玉栄）が山北眞緒＆山本優愛（ふたば未来学園）にストレート勝ちで全国初Ｖ。埼玉栄として５年ぶりの日本一に輝いた。試合が終わった瞬間、会場は健闘を称える温かい拍手が選手たちに送られた。

競技部会では、大幅なブロック長の交代（６ブロック）による競技部組織の再構築、大会組合わせ・タイムテーブル・諸手続きについての検討、今後の全国大会の開催予定の確認、各地区との情報交換等を行った。３月の全日本中学生バドミントン選手権大会（日本バドミントン協会主催）時にも、自主的にブロック長が集まり、中学生バドミントンに関わる様々な課題について情報交換と検討を行っている。多くの方々の時間と労力を費やしての全国大会開催。関わる方々の使命感とボランティア精神で成り立っていると言える。教員の働き方改革に併せて、部活動や大会の在り方が問われている現在、全国大会の準備・運営の在り方についても精選と効率化を図る必要があるといえる。

昨年、開催予定だった２０２０東京オリンピック・パラリンピックが今年に延期となった。全国大会を経験した多くの選手が出場しており、間近で観戦できる良い機会であったが、急遽、無観客試合となってしまった。世界の舞台への飛躍を夢見て、その後を追いかける「ＢＩＲＤ　ＪＡＰＡＮ　ＪＵＮＩＯＲ」が、この全国大会から羽ばたいていくことを願いたい。

最後に、本大会の開催に関わりました多くの方々に衷心より御礼を申し上げるとともに、大会の中心役となりました「山梨県小中学校体育連盟」の益々のご発展を祈念するものである。

令和３年度　全国中学校体育大会
第51回　全国中学校バドミントン大会要項

１　目　　的　　この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くバドミントン競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図るものである。

２　主　　催　　公益財団法人日本中学校体育連盟　　公益財団法人日本バドミントン協会
山梨県教育委員会　　甲府市教育委員会

３　主　　管　　関東中学校体育連盟　　山梨県小中学校体育連盟　　山梨県バドミントン協会

４　後　　援　　スポーツ庁　　全日本中学校長会　　全国都道府県教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会　　公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会
日本私立中学高等学校連合会　ＮＨＫ　全国新聞社事業協議会　読売新聞社　毎日新聞社
山梨県　甲府市　笛吹市　山梨県公立小中学校長会　公益財団法人山梨県スポーツ協会
公益財団法人甲府市スポーツ協会　　山梨県ＰＴＡ協議会　　山梨日日新聞社　　山梨放送
テレビ山梨

５　特別協賛　　大塚製薬株式会社

６　会　　期　　令和３年８月２０日（金）～２３日（月）

２０日（金）		１１：５０	開会通告・開会宣言
２０日（金）	競　技	１２：００～	団体戦男子１回戦、女子２回戦まで
２１日（土）		９：００～	団体戦決勝まで、個人戦１回戦
２２日（日）		９：００～	個人戦準々決勝まで
２３日（月）		９：００～	個人戦準決勝、決勝

※開会式・閉会式は行わない。

７　会　　場　　小瀬スポーツ公園　体育館
〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840番地　　Tel 055-243-3111

８　種　　目　　（１）学校対抗　男・女各団体戦
（２）個人対抗　男・女各個人戦（シングルス・ダブルス）

９　参加資格

（１）参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍する生徒で、校長及び都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた者とする。
（２）年齢は、平成１８年（２００６年）４月２日以降に生まれた者に限る。
（３）前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和３年の６月３０日(水)までに、各都道府県中学育連盟を通して、(公財) 日本中学校体育連盟に申し出ること。
（４）各ブロックの競技要項により、全国大会参加資格を得て、所属中学校校長及び都道府県中学校体育連盟会長が承認した者であること。
（５）団体戦のチームは、監督１名、コーチまたはマネージャー１名、選手５～７名（同一校）で編成する。
（６）開催県はブロック大会に関係なく、男女団体１チーム、個人シングルス２名、ダブルス２組が出場できる。
（７）令和３年度全国中学校体育大会の他競技（夏季大会）に出場していない者。
（８）参加資格の特例
① 学校教育法第１３４条の各種学校（１条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア　全国大会の参加を認める条件
（ア）(公財) 日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
（イ）生徒の年齢及び修業年限が、我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。

(ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

イ　全国大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

(9) 個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財) 日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。又、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

10　参 加 料　　参加選手一人につき、３，０００円とする。

11　引率者及び監督

(1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※１とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の所定欄に必要事項を記入し、大会事務局に提出する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

※１→ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第７８条の２に示されている者をいう。

(2) 全国大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者（コーチ）確認書（団体戦用）」に必要事項を記入し、大会事務局へ参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者（コーチ）になることもできない。

(3) (公財) 日本中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。

(4) 引率者の特例

全国中学校体育大会の個人競技への参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者（コーチ）の引率を認める。（全国中学校体育大会運営の基本と大会開催基準「全国中学校体育大会引率細則」参照。）

12　参 加 数　　ブロック割当数　（男女とも同数とする。）

	北海道	東 北	関 東	北信越	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	開催県	合計
団 体 戦	2	3	4	2	2	3	2	2	3	1	24
個人戦(単)	4	4	6	3	3	4	3	3	4	2	36
個人戦(複)	4	4	6	3	3	4	3	3	4	2	36

13　競技規則

令和３年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

14　使用用器具

（公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び、令和３年度第１種検定合格水鳥球を使用する。

15　競技方法

(1) 男女学校対抗団体戦及び個人戦（男女シングルス・男女ダブルス）を行う。

(2) トーナメント方式により優勝を決定する。（３位決定戦は行わない。）

(3) 団体戦は、複２・単１の対抗とし、複１・単・複２の順に行う。
（同一選手が、単と複１・２及び、複１と複２を兼ねて出場することはできない。）

(4) 個人戦は単と複を兼ねて出場することはできない。

16 表　彰

	優勝	準優勝・第3位
団体戦	賞　状　（公財）日本中学校体育連盟・（公財）日本バドミントン協会 メダル　（公財）日本バドミントン協会、大会実行委員会 トロフィー　読売新聞社、（公財）日本中学校体育連盟・大会実行委員会	
	盾　文部科学大臣賞 優勝旗　（公財）日本中学校体育連盟 優勝杯　（公財）日本バドミントン協会 トロフィー　（公財）日本中学校体育連盟	
個人戦（単複）	賞　状　（公財）日本中学校体育連盟・（公財）日本バドミントン協会 メダル　（公財）日本バドミントン協会、大会実行委員会 トロフィー　読売新聞社、大会実行委員会	
	優勝杯　（公財）日本バドミントン協会	

※優勝旗・優勝杯は、持ち回りとする。

17 参加申込

（1）申込み方法

大会プログラム作成の関係上、各ブロック大会最終日までに所定の申込書を大会ホームページよりダウンロードし、必要事項を明確に入力の上、メール及びＦＡＸで仮申込みを行うこと。その後、押印された正式な申込書を下記の「（2）申込先」へ８月１０日（火）必着で送付すること。

※メールにて仮申込した文書と正式申込書の記入内容に差異がないように注意し、仮申込み送信後の選手変更等は所定の方法にて行うこと。）

※８月１０日（火）にブロック大会が終了するブロックのブロック長は、事前に実行委員会へ連絡する。

（2）申込先

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺２丁目８番１号（甲府市立東中学校内）
第５１回全国中学校バドミントン大会　山梨大会　実行委員会事務局
事務局長　井田　正則
TEL　090-4756-1068　　FAX　055-227-7063
E-mail　zenchu-bad-2021@mx2.nns.ne.jp
大会ホームページ　https://ymn-sc-tairen.jp/jhs-badminton-yamanashi2021

（3）引率に関わる外部指導者の報告書

引率者の特例における「全国中学校体育大会引率者・監督者報告書」は、大会参加申込書とともに上記の「（2）申込先」へ提出すること。

（4）参加料の納入

参加選手（大会申込書に記載された選手）は、一人につき３，０００円（団体戦と個人戦の両方に登録された場合も３，０００円とする）を、宿泊・昼食弁当の手配業務を委託した株式会社日本旅行の参加料代行収受システムを利用し、別に定める宿泊要項にある専用Ｗｅｂサイトに登録のうえ、指定銀行口座への振込み、またはコンビニ決済にて納入すること。（手数料は参加者負担。納入締め切り　８月１８日（水）１２時（正午））

なお、参加申込締め切り以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金は行わない。

18 組合せ

（公財）日本バドミントン協会が指名したレフェリー（競技役員長）もしくは、デピュティーレフェリー（競技審判部長）の指示の下、第５１回全国中学校バドミントン大会実行委員会との間で厳正に執り行う。組合せについては、「全国中学校バドミントン大会　組合せ要領」に則る。

※組合せ抽選会　　令和３年８月１３日（金）１３時～
場　所　　山梨英和中学校
住　所　　山梨県甲府市愛宕町112
組合せについては８月１４日１１時にホームページで公表する。

19 諸会議

（1）（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部会（ブロック代表者会議）
令和３年８月１９日（木）　　１６：００～　小瀬スポーツ公園体育館　プレイルーム

（2）監督会議は行わない。

20　宿　　泊

宿泊については、別紙の「宿泊要項」による。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない）

申込締切日	令和３年８月１２日（木）
取扱業者	株式会社 日本旅行 甲府支店 担当 湧井、高野、岩井 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-29-4　明治安田生命甲府ビル１階 TEL 055-235-5252 FAX 055-231-1533

21　新型コロナウイルス感染防止対策

（１）出場校の選手及び引率者等は、大会前後２週間分（４週間）の体調を体調記録表に記録し、健康管理に努めなければならない。また、参加チームは、大会当日毎日受付時に、学校同行者体調記録表を提出すること。

（２）大会期間中、選手や引率者等に風邪の症状（発熱(37.5℃以上)、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とする。また、対戦した相手チームの選手や引率者などに同様の症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とすることもあり得る。

（３）参加チームの選手及び引率者等全関係者は、大会中は競技実施時（ウォーミングアップ含む）及び食事中等を除いて基本的にマスクを着用し咳エチケットを徹底しなければならない。

（４）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、（公財）日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」及び（公財）日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」を基に、本大会の「感染防止対策ガイドライン」に従って大会を開催する。

①体育館への入場は以下の者のみとし、無観客で開催する。
　出場登録選手・監督・コーチ・マネージャー、個人戦の入場許可申請者、大会役員、競技役員、事前に申請し許可を得た者
②参加者が一堂に会して密状態になるのを避けるため、開閉会式は行わない。
③選手招集所は設けず、選手の入場は放送による試合のコールを合図に直接集合する。
④コーチ席を１席とする。ベンチ（コーチ席）入り可能者は大会参加細則に記載する。
⑤閉会式は行わず、各種目が終了したところで随時表彰を行う。

※本大会のガイドラインは随時改訂していくので、大会ホームページにて最新版を確認すること。

22　備　　考

（１）競技中の着衣は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。着衣表示については、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第２４条による。但し、ウェアの表示については、一部、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加える。

（２）大会期間中の負傷・疾病については応急手当のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。（健康保険証がない場合は保健医療が受けられない場合がある。）

（３）大会参加に関して、大会要項及び大会参加細則を熟読の上、参加すること。

（４）大会実行委員会ならびに（公財）日本バドミントン協会環境委員会よりお願い
・甲府市のゴミの分別収集に協力してください。
・宿泊先の部屋から出るときには、エアコン・テレビ・ライトのスイッチを消してください。
・マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください。

23　連 絡 先

（１）大会開催前　　令和３年４月１日（木）～８月１９日（木）

「１７　参加申込　（２）申込先」とする。

（２）大会期間中　　令和３年８月２０日（金）～２３日（月）

（昼間）　小瀬スポーツ公園　体育館
　　〒400-0836　　山梨県甲府市小瀬町840番地
（夜間）　ホテル談露館
　　〒400-0031　山梨県甲府市丸の内１丁目19-16
事務局専用電話　事務局長　井田　正則　TEL 090-4756-1068

（３）大会開催情報

①大会ホームページアドレス　　https://ymn-sc-tairen.jp/jhs-badminton-yamanashi2021
②（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部ホームページアドレス　　http://chubad.jp

令和３年度全国中学校体育大会
第51回 全国中学校バドミントン競技大会 大会役員

名誉会長	(公財)日本バドミントン協会会長	関根　義雄	
名誉副会長	山梨県知事	長崎　幸太郎	
	甲府市長	樋口　雄一	
会長	(公財) 日本中学校体育連盟会長	宮澤　一則	
副会長	(公財) 日本中学校体育連盟副会長	大塚　洋一	市川　嘉裕
		石川　一博	田中　節
	(公財) 日本中学校体育連盟専務理事	大河原　嘉朗	
	(公財) 日本バドミントン協会副会長	福田　達夫	山田　順一郎
	(公財) 日本バドミントン協会専務理事	銭谷　欽治	
	山梨県教育委員会教育長	三井　孝夫	
	山梨県小中学校体育連盟会長	仙洞田　和男	
	山梨県バドミントン協会会長	白倉　一民	
	第５１回全国中学校バドミントン大会実行委員会委員長	仙洞田　和男	
	関東バドミントン協会会長	加藤　寛治	
名誉顧問	(公財) 日本バドミントン協会名誉会長	綿貫　民輔	
	ＮＨＫ会長	前田　晃伸	
顧問	スポーツ庁長官	室伏　広治	
	スポーツ庁次長	藤江　陽子	
	(公財) 日本中学校体育連盟参与	伊藤　俊典	榎本　智司
		直田　益明	山本　聖志
		川越　豊彦	菊山　直幸
		三田村　裕	
	(公財) 日本バドミントン協会顧問	森　喜朗	関谷　勝嗣
		森田　一	平田　登志郎
		青木　昭二	毛利　清志
		内多　小五郎	小宮　淳宏
		吹田　修一	牧野　武
		村山　幸雄	濵中　誠
		岡本　武利	三宅　祐司
		野村　嘉明	里見　光徳
		佐藤　芳朗	竹林　克彦
		油井　秀男	淺岡　武
		木村　寛	遠井　稔男
		岡村　英男	川島　一郎
		板垣　隆房	上原　信彦
		加藤　博司	藤本　滋
		藤原　和文	加藤　寛治
		原　紀征	鈴木　勝之
		中山　紀子	藤原　航

		真壁　幹雄	籾井　勝人		
		野村　安忠	西村　健二		
		工藤　勇参	千葉　健夫		
		築地　孝彦	三井　　裕		
		髙橋　英夫			
（公財）日本バドミントン協会加盟団体長		栗原　　進	福士　文敏		
		竹林　克彦	鈴木　勇治		
		斉藤　永吉	鈴木　隆一		
		吉田　邦男	加藤　寛治		
		別井　　晃	関　　俊夫		
		磯井　貞夫	有瀬　浩一		
		千葉　健夫	羽隅　弘治		
		白倉　一民	小田　　等		
		荒井　和人	綿貫　民輔		
		砂塚　隆広	中嶋　光司		
		工藤　喜久雄	末岡　熙章		
		金森　　正	杉山　忠国		
		藤原　健二	田中　田鶴子		
		銭谷　欽治	瀬川　欽也		
		野村　安忠	石田　真敏		
		福浜　隆宏	成相　安信		
		荒木　雷太	松藤　研介		
		林　　芳正	藤原　和文		
		西野　昌明	中村　時広		
		桑名　龍吾	浦山　　茂		
		中尾　昌由	里脇　清隆		
		木村　洋一郎	佐藤　英雄		
		相澤　　潔	藤本　　滋		
		新里　　登	宮崎　重勝		
		籾井　勝人	髙橋　英夫		
		田部井　秀郎	天野　博江		
		黒川　　茂	関根　冬藏		
		別井　　晃			
山梨県副知事		渡辺　和彦			
山梨県議会議長		桜本　広樹			
甲府市議会議長		兵道　顕司			
甲府市教育委員会教育長		數野　保秋			
ＮＨＫ副会長・放送総局長		正籬　　聡			
全国市町村教育委員会連合会会長		田邊　俊治			
全日本中学校長会会長		宮澤　一則			
全日本中学校長会副会長		三浦　利章	松葉　　覚		
		吉野　雅彦	宮崎　　正		
		深瀬　重雄	久保　好寛		
		正木　敬造	金丸　利康		
（公社）日本ＰＴＡ全国協議会会長		清水　敬介			
日本私立中学高等学校連合会会長		吉田　　晋			
参　　与	山梨県教育委員会教育次長	小田切　三男			
	山梨県教育委員会義務教育課長	秋山　克也			
	山梨県教育委員会保健体育課長	上田　直人			
	（公財）山梨県スポーツ協会会長	高野　　剛			

	ＮＨＫ報道局スポーツセンター長	辻村　和人	
	ＮＨＫ事業センター長	栫　健一郎	
	ＮＨＫ甲府放送局長	安出　光伸	
	山梨県小中学校長会長	竹川　和彦	
	読売新聞東京本社　取締役事業局長	吉村　秀男	
大会委員長	（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部長	関根　冬藏	
大会副委員長	（公財）日本中学校体育連盟担当理事	相澤　敬二	
	（公財）日本バドミントン協会派遣理事	遠井　努	
	（公財）山梨県スポーツ協会副会長	進藤　中	樋口　雄一
		皆川　巖	塩野　開
		飯田　忠子	
	（公財）山梨県スポーツ協会理事長	荒木　一聡	
	（公財）山梨県スポーツ協会専務理事	赤池　隆廣	
	山梨県小中学校体育連盟副会長	八代　浩	河西美代司
		吉澤　直樹	齋藤　泰史
		志村　雅巳	小林　達也
		鈴木　仁	
	山梨県バドミントン協会副会長	岩下　一雄	金子　寛
		小松　茂仁	丸山　哲
		滝川　修	伊藤　祐寛
		石井　泉	飯島　保利
	第５１回全国中学校バドミントン大会実行委員会副委員長	上田　直人	今村　弘樹
		八代　浩	河西美代司
		吉澤　直樹	小林　達也
		齋藤　泰史	志村　雅巳
		鈴木　仁	岩下　一雄
		金子　寛	丸山　哲
		石井　泉	中山　宗彦
大会委員	（公財）日本中学校体育連盟常務理事	中山　明彦	松下　整
		篠原　政一	平本　浩実
	（公財）日本中学校体育連盟理事	佐々木　伸治	加藤　博之
		松野下　真	相澤　敬二
		奈良　隆	石川　泰成
		大房　裕司	菅田　耕治
		高田　和英	松田　雄史
	（公財）日本中学校体育連盟監事	髙橋　利明	平尾　京一
	（公財）日本中学校体育連盟全国大会対策委員	木村　由久	洞口　乃
		薄　武郎	中島　行則
		佐野　竜	西田　知浩
		阿部　雄一	岡部　洋明
		髙橋　秀幸	
	（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技ブロック長	上山　敦司	（北海道）
		太田　英也	（東北）
		戸辺　尚彰	（関東）
		笠川　裕史	（北信越）
		平池　直哉	（東海）
		田村　友一	（近畿）
		藤田　翔	（中国）

	植田　竜平	（四国）	
	金城　忍	（九州）	
（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部顧問	小野　理		
（公財）日本バドミントン協会理事	朝倉　康善	岩﨑　眞美	
	岡野　佳浩	小国　久美	
	河崎　正紀	歸山　好和	
	小柳　尚久	佐竹　養一	
	田部井秀郎	丹藤　勇一	
	遠井　努	中村　新一	
	原田　利雄	源　憲治	
	毛利　達彦	山蔭　栄	
（公財）日本バドミントン協会監事	木戸　純一	京田　和男	
	民谷千寿子		
山梨県教育委員会保健体育課統括課長補佐	塩田　岳		
甲府市教育委員会教育部長	餐場　正人		
甲府市教育委員会学校教育課長	寺田　是		
（公財）山梨県スポーツ協会理事	浅川　幸彦	上田　修	
	遠藤　俊郎	岡　武男	
	岡部　和子	尾澤　正美	
	小俣　宏記	金井　弘	
	佐藤　博水	塩澤　浩	
	下田正二郎	仙洞田和男	
	鷹取　偉一	樋田　洋樹	
	野口　英一	藤原　篤	
	堀内光一郎	向山　敏宏	
	吉岡　剛	渡邊　宏一	
	渡邉　悟	渡邉　玉彦	
山梨県小中学校体育連盟理事長	秋山　知洋		
山梨県バドミントン協会理事長	中山　宗彦		
山梨県バドミントン協会副理事長	輿石　努	三井　雅美	
	井田　正則	瀧澤　智顕	
	永田　克美	平田　悠	

大会総務	（公財）日本中学校体育連盟事務局長	新宮領　毅	
	（公財）日本中学校体育連盟事務局職員	松井真姫子	松岡　杏奈
	（公財）日本バドミントン協会事務局長	丹藤　勇一	
	山梨県教育委員会保健課課長補佐	山田　芳樹	
	山梨県教育委員会教育庁保健体育科副主査・指導主事	武藤　拓馬	
	甲府市教育委員会スポーツ課長	臼井　礼史	
	山梨県中学校体育連盟事務局長	荻野　康	
	山梨県中学校体育連盟バドミントン専門部競技部長	今村　弘樹	
	山梨県中学校体育連盟バドミントン競技部委員長	井田　正則	

競技役員

競技役員長（レフェリー）　矢畑　雅史

競技審判部長（デピュティレフェリー）　渡邉　伸也

競技部長　関根　冬藏

競技部副部長　上山　敦司　太田　英也　戸辺　尚彰　笠川　裕史　平池　直哉　田村　友一
藤田　翔　植田　竜平　金城　忍

競技部　◎望月　英宏　山下　茉莉子　小林　誠也　大森　千賀子

進行係　藤沢　仁士　筒井　弘

放送係　○小後貫　由華　天野　明佳　山本　優希

シャトル係　○望月　洋和　東条　桂

オーダー係　○佐野　文寛　佐野　悦夫

審判係　◎古屋　文明　飯島　春奈　糠信　恵理香

主審員　(公財)日本バドミントン協会公認審判員

新井　博幸　茂田　公基　山口　律子　中川　敬子　増田　智恵　中村　資良
千代　和広　田崎　真光　横塚　一弘　坂本　恵美　本間　明信　井部　健
山本　雅己　竹野　大輔　角山　和正　伊賀　祐輝　荻野　三穂　佐野　勇介
佐藤　巧　越智　師淳　宮沢　哲治　杉山　雅道　柿崎　孝央　菅澤　伸哉
滝川　亮太　上條　直也　松田　晃樹　成島　寿美子　井上　裕紀　内田　北斗
瀧澤　智顕　飯島　保利　伊東　雅俊　宮澤　匠　佐野　大輔　鳥羽　琴音
山下　恵美　坂本　深雪　赤嶺　和美　佐野　ゆう子　荒木　恵子　岡　芙美子
永田　克美　早川　夕希　岸田　祐子　雨宮　歌純

線審係　○磯野　朋和　小田切　聡

得点掲示係　○磯野　朋和　桂原　聖

会　場　部	◎雨宮　光平					
会　場　係	○入倉　絢	浜辺はるか	天野　研	猪股　研	小林　淳真	渡邊　雅男
（アリーナ）	齊藤　和貴	武井　善文	広瀬　竜太	橘爪　裕幸	廣瀬　直樹	花田　丈士
	齊藤　麻由					
（感染症対策）	飯野　友峰斗	鷹野　公俊	渡邉　綾馨	奥山　寿夫	小林　史奈	植松　昭宏
	石田　周子	望月　清一	大野　幾江	鈴木　涼子		
練習会場係	○田草川　将	関野　由佳里				
	近藤　達夫	根岸　幹実	富田　翼	利根川　紫野	小西　拓磨	中込　美香
	廣瀬　淳一	戸島　直樹	飯椌　史子	小川　昴	小宮山　奈央	石原　三正
	奥田　楓	深澤　茉莉	石田　夏子	丸山　英幸	遠藤　和香	矢野　仁恵
	近藤　健一	山縣　裕二	中村　華子	高峰　佑季	浅尾　和世	新藤　はるか
	江口　孝一郎	野木　紹吾	萬　祐里	鈴木　美代子	松明　舞子	宮原　知佳
	佐野　佳那実	佐久間　幸人	仙澤　亜沙美	雨宮　弘	清水　美香	保坂　厚雄
	松村　広一郎	望月　貴弘	秋山　智子	望月　幹夫	堀内　雅仁	立澤　舞楠実
	安留　健太郎					
記録・広報係	◎髙次　浩行	末松　裕鏡	花形　直紀	深澤　裕太	青柳　瑞希	
ホームページ管理	今村　弘樹					
YouTube配信	髙次　浩行	石井　泉	山梨学院大生			
総　務　部	◎井田　正則	○石井　泉	市村　淳			
表　彰　係	○飯野　友峰斗	鷹野　公俊	渡邉　綾馨	山田　千代		
受　付　係	○望月　美紀	飯田　瑞希	赤池　由莉亜	河西　よしみ	上田　誠人	桑原　健太
	丹沢　美佐子	鈴木　己連人	佐藤　栄克	功刀　寛規	笠田　聖	天野　美加
	外川　信太郎	堀内　翔子	鈴木　律子			
接　待　係	○酒井　理恵	波羅　美智子	武居　淑美	長田　美織		
救　護　係	井上　砂織	三河　知美	長塚　深千子			
駐車場係	○林　秀亮	筒井　栄太	三杉　亘	山梨学院大生		
事　務　局	◎井田　正則	○石井　泉				

第51回全国中学校バドミントン大会　タイムテーブル

開　館　時　間 …… 20日 (9:00)　21～23日 (7:50)

練習割当について …… 団体戦… トーナメント表の若番チームが若番コートで練習。
GT9～16練は2回戦から出場するチームの練習。
個人戦… 両チーム同時に練習。

表記の見方
B:男子 G:女子　数字:試合番号
T:団体 S:シングルス D:ダブルス

日	内容 / オーダー交換		時間	アリーナ 1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート	9コート	10コート
19日 (木)	競技部会		16:00 ～	小瀬スポーツ公園体育館　プレイルーム									
20日 (金)	監督会議		～	なし									
	開会式			なし									
	練習割当		10:50 ～ 11:00	GT1練		GT2練		GT3練		GT4練		GT5練	
			11:00 ～ 11:10	GT6練		GT7練		GT8練		BT1練		BT2練	
			11:10 ～ 11:20	BT3練		BT4練		BT5練		BT6練		BT7練	
			11:20 ～ 11:30	BT8練		GT9練	GT10練	GT11練	GT12練	GT13練	GT14練	GT15練	GT16練
	準備		11:30 ～ 12:00	会　場　準　備									
	団体戦	11:30	12:00 ～ 12:30	GT 1		GT 2		GT 3		GT 4		GT 5	
		12:10	12:40 ～ 13:20	GT 6		GT 7		GT 8		BT 1		BT 2	
		13:20	13:30 ～ 14:20	BT 3		BT 4		BT 5		BT 6		BT 7	
		14:00	14:30 ～ 15:30	BT 8		GT 9		GT10		GT11		GT12	
		15:10	15:40 ～ 16:40	GT13		GT14		GT15		GT16			
21日 (土)	練習割当		8:10 ～ 8:20	BT9練		BT10練		BT11練		BT12練		BT13練	
			8:20 ～ 8:30	BT14練		BT15練		BT16練		GT17練		GT18練	
			8:30 ～ 8:40	GT19練		GT20練							
	準備		8:40 ～ 9:00	会　場　準　備									
	団体戦	8:30	9:00 ～ 9:30	BT 9		BT10		BT11		BT12		BT13	
		9:10	9:40 ～ 10:20	BT14		BT15		BT16		GT17		GT18	
		10:00／随時	10:30 ～ 11:30	GT19	GT20		BT17		BT18	BT19		BT20	
		随時	11:30 ～ 12:30	GT21		GT22		BT21		BT22			
		随時	13:40 ～ 14:40	GT23				BT23					
	団体戦表彰			男女それぞれ団体準決勝、決勝が終了したところで、随時表彰を行います。また、準備が整ったところで、男女別に個人戦を入れていく予定です。									
	個人戦		15:00 ～ 15:30	GS 1	GS 2	GS 3	GS 4	GD 1	BS 1	BS 2	BS 3	BS 4	BD 1
			15:30 ～ 16:10	GD 2	GD 3	GD 4			BD 2	BD 3	BD 4		
22日 (日)	練習割当		8:10 ～ 8:20	GS5練	GS6練	GS7練	GS8練	GS9練	GS10練	GS11練	GS12練	GS13練	GS14練
			8:20 ～ 8:30	GS15練	GS16練	GS17練	GS18練	GS19練	GS20練	BS5練	BS6練	BS7練	BS8練
			8:30 ～ 8:40	BS9練	BS10練	BS11練	BS12練	BS13練	BS14練	BS15練	BS16練	BS17練	BS18練
			8:40 ～ 8:50	BS19練	BS20練								
	準備		8:50 ～ 9:00	会　場　準　備									
	個人戦		9:00 ～ 9:30	GS 5	GS6	GS7	GS8	GS9	GS10	GS11	GS12	GS13	GS14
			9:30 ～ 10:00	GS15	GS16	GS17	GS18	GS19	GS20	BS5	BS6	BS7	BS8
			10:00 ～ 10:30	BS9	BS10	BS11	BS12	BS13	BS14	BS15	BS16	BS17	BS18
			10:30 ～ 11:05	BS19	BS20	GD5	GD6	GD7	GD8	GD9	GD10	GD11	GD12
			11:05 ～ 11:40	GD13	GD14	GD15	GD16	GD17	GD18	GD19	GD20	BD5	BD6
			11:40 ～ 12:15	BD7	BD8	BD9	BD10	BD11	BD12	BD13	BD14	BD15	BD16
			12:15 ～ 12:55	BD17	BD18	BD19	BD20	GS21	GS22	GS23	GS24	GS25	GS26
			12:55 ～ 13:35	GS27	GS28	BS21	BS22	BS23	BS24	BS25	BS26	BS27	BS28
			13:35 ～ 14:15	GD21	GD22	GD23	GD24	GD25	GD26	GD27	GD28	BD21	BD22
			14:15 ～ 14:55	BD23	BD24	BD25	BD26	BD27	BD28				
			14:55 ～ 15:35	GS29	GS30	GS31	GS32	BS29	BS30	BS31	BS32		
			15:35 ～ 16:15	GD29	GD30	GD31	GD32	BD29	BD30	BD31	BD32		
23日 (月)	練習		8:20 ～ 8:40	GS34練	GD34練	BS34練	BD34練	GS33練	GD33練	BS33練	BD33練		
	準備		8:40 ～ 9:00	会　場　準　備									
	個人戦	S準決	9:00 ～ 9:40	GS34		BS34		GS33		BS33			
		D準決	9:20 ～ 10:00		GD34		BD34		GD33		BD33		
		S決勝	10:00 ～ 10:40					GS35		BS35			
		D決勝	10:20 ～ 11:00						GD35		BD35		
	個人戦表彰			閉会式は行わず、各種目準決勝、決勝が終了したところで、随時表彰を行います。									

※ 試合は、空きコートに順次入れていきます（流し込み方式）。また、団体戦は、準決勝までは2面展開（進行状況でさらにコートを開いて行う）、決勝戦は3面展開で行いますが、空いたコートから1面でも順次試合を入れていきます。
※ タイムテーブルの時間は目安であり、試合の進行状況により時間が遅れることがあります。また、各試合の開始時間をタイムテーブルに示す時間より早めることはありません。

大会日程

８月２０日（金）	１１：５０	開始式
	１２：００～	競技開始（団体戦男子１回戦、女子２回戦まで）
２１日（土）	９：００～	競技開始（団体戦決勝まで、個人戦１回戦まで）
		※団体戦順位決定後、随時表彰
２２日（日）	９：００～	競技開始（個人戦準々決勝まで）
２３日（月）	９：００～	競技開始（個人戦準決勝、決勝）
		※個人戦順位決定後、随時表彰

式次第

開始式　開式通告　（放送による）

開会宣言　大会委員長（(公財) 日本中学校体育連盟バドミントン競技部長）関根　冬藏

閉式通告　（放送による）

表　彰　各種目順位決定後、随時表彰

令和元年度 第４９回全国中学校バドミントン大会　優勝校・優勝者

男子団体	ふたば未来学園中学校	（福島県）
女子団体	ふたば未来学園中学校	（福島県）
男子シングルス	齋　藤　駿	（ふたば未来学園中・福島県）
女子シングルス	明　地　陽　菜	（柳井中・山口県）
男子ダブルス	川邊　悠陽・城戸　郁也	（倉敷第一中・岡山県）
女子ダブルス	遠藤　心夏・小笠原未結	（青森山田中・青森県）

令和３年度　全国大会報告書

競技　　バドミントン

大会名	令和３年度全国中学校体育大会　第５１回全国中学校バドミントン大会
主　催	公益財団法人日本中学校体育連盟　公益財団法人日本バドミントン協会 山梨県教育委員会　甲府市教育委員会
後　援	スポーツ庁　全日本中学校長会　全国都道府県教育長協議会　全国市町村教育委員会連合会 公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会　日本私立中学高等学校連合会　ＮＨＫ　全国新聞社事業協議会 読売新聞社　毎日新聞社　山梨県　甲府市　笛吹市　山梨県公立小中学校長会 公益財団法人山梨県スポーツ協会　公益財団法人甲府市スポーツ協会　　山梨県ＰＴＡ協議会 山梨日日新聞社　山梨放送　テレビ山梨
期　日	令和３年８月２０日　～　８月２３日
会　場	小瀬スポーツ公園体育館

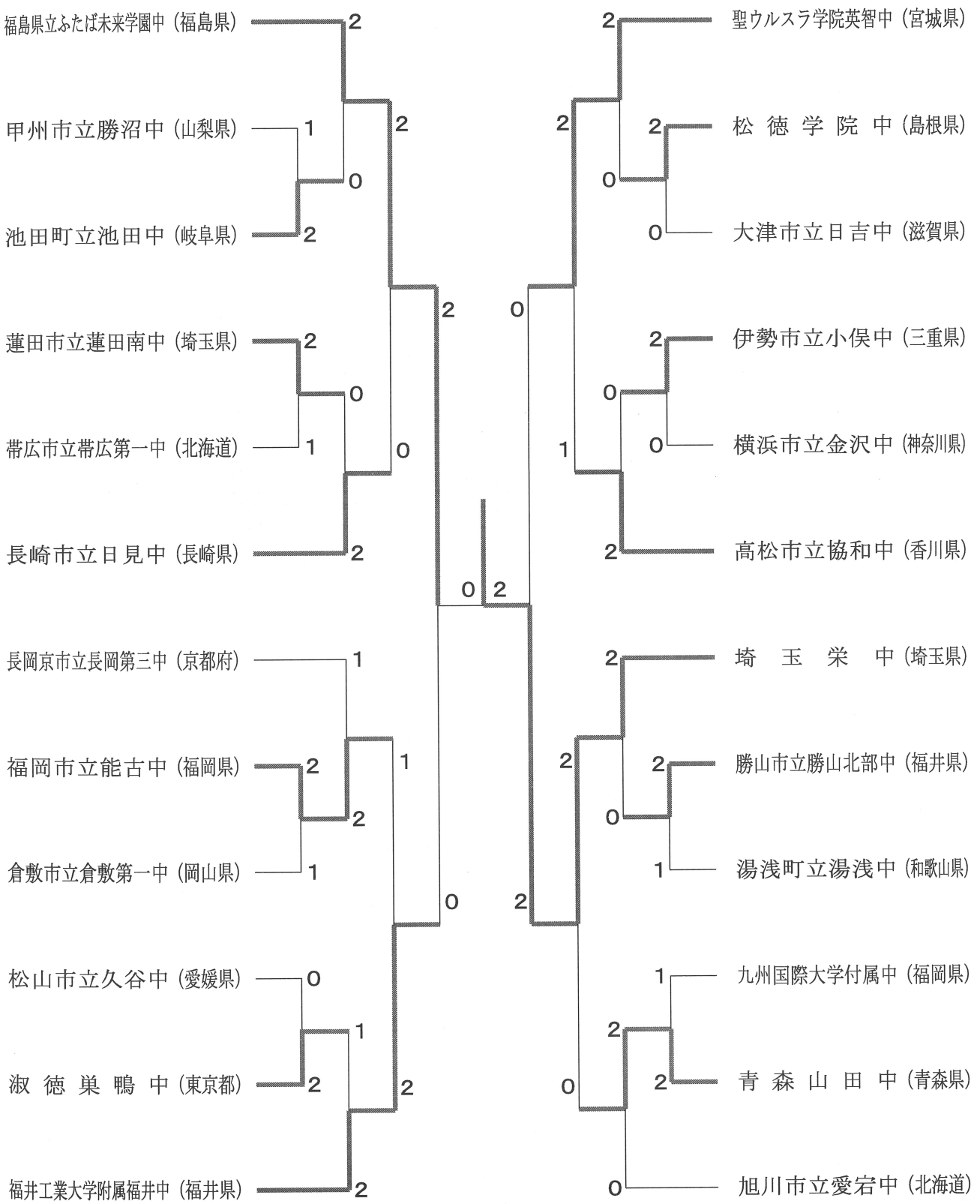
競技役員数		生徒役員数		役員数	参加校数		参加生徒数		役員数・生徒数
男	女	男	女	合計	男	女	男	女	総合計
133	84	8	18	（A）	60	59	219	221	（A＋B）
計		計		243	計		計（B）		683
217		26			119		440		

成績	団体	男子	優勝	関東ブロック	埼玉県	埼玉栄中学校
			準優勝	東北ブロック	福島県	福島県立ふたば未来学園中学校
			第３位	東北ブロック	宮城県	聖ウルスラ学院英智中学校
			第３位	北信越ブロック	福井県	福井工業大学附属福井中学校
		女子	優勝	東北ブロック	青森県	青森山田中学校
			準優勝	東北ブロック	福島県	福島県立ふたば未来学園中学校
			第３位	近畿ブロック	大阪府	四天王寺中学校
			第３位	北信越ブロック	福井県	福井工業大学附属福井中学校
	シングルス	男子	優勝	関東ブロック	埼玉県	埼玉栄中学校 澤田　修志
			準優勝	関東ブロック	埼玉県	埼玉栄中学校 三浦　大地
			第３位	東北ブロック	青森県	青森山田中学校 大澤　達也
			第３位	北信越ブロック	福井県	福井工業大学附属福井中学校 山田　琉碧
		女子	優勝	中国ブロック	山口県	柳井市立柳井中学校 宮崎　友花
			準優勝	近畿ブロック	大阪府	四天王寺中学校 玉木　亜弥
			第３位	関東ブロック	千葉県	柏市立豊四季中学校 砂川　温香
			第３位	北信越ブロック	福井県	福井工業大学附属福井中学校 松田　仁衣菜
	ダブルス	男子	優勝	東北ブロック	福島県	福島県立ふたば未来学園中学校 中静　悠斗・藤吉　珠李
			準優勝	関東ブロック	埼玉県	埼玉栄中学校 有江　琥珀・稲川　蓮二郎
			第３位	北信越ブロック	石川県	金沢市立高岡中学校 前　結心・中島　圭優
			第３位	北信越ブロック	福井県	勝山市立勝山北部中学校 野村　雅人・宮川　力也
		女子	優勝	関東ブロック	埼玉県	埼玉栄中学校 上野　凛・垣内　杏南
			準優勝	東北ブロック	福島県	福島県立ふたば未来学園中学校 山北　眞緒・山本　優愛
			第３位	九州ブロック	福岡県	九州国際大学付属中学校 本田　希藍・東野　有咲
			第３位	北信越ブロック	石川県	金沢市立大徳中学校 本村　優奈・和田　春菜

令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２０日－２１日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

男子団体戦



男子団体戦　1

池田町立池田中	岐阜	2－1	山梨	甲州市立勝沼中
遠藤 稜己 勝野 友理	2	21-18 21-13	0	草塩 雄大 飯塚 颯
河村 竜磨	0	16-21 5-21	2	坂本 櫂音
水上 奏汰 野原 皓斗	2	21-12 21-13	0	坂野 春輝 日沖 愛一朗

男子団体戦　2

蓮田市立 蓮田南中	埼玉	2－1	北海道	帯広市立 帯広第一中
初鹿野 桜佑 中田 樹来	2	21- 8 21-13	0	山内 柾 新井 遥人
千葉 太一	0	12-21 16-21	2	髙橋 悠
大熊 辰弥 片山 昂大	2	21-17 21-13	0	片桐 梗瑛 佐藤 杏介

男子団体戦　3

福岡市立能古中	福岡	2－1	岡山	倉敷市立 倉敷第一中
小林 紀博 仲里 悠成	2	21-16 21-15	0	橋本 夢叶 窪田 常尚
高田 隆誠	1	21-16 20-22 19-21	2	渡邉 奏介
松尾 尚樹 山﨑 琉生	2	21-15 21-18	0	岡本 翔斗 戸板 伊吹

男子団体戦　4

淑徳巣鴨中	東京	2－0	愛媛	松山市立久谷中
福島 幸輝 鈴木 泰芽	2	21-17 21-14	0	大森 愛叶 池田 伊吹
水谷 友弥	1	22-20 11-14 打切り	0	森 蒼介
江口 幸輝 伊東 真輝	2	21- 7 21- 5	0	清水 拓実 石川 祥

男子団体戦　5

松徳学院中	島根	2－0	滋賀	大津市立日吉中
奥田 瑛斗 福島 陽人	2	21-17 21-19	0	中村 慶 山﨑 翔
黒川 真哉	2	21- 8 21-11	0	嶋川 蒔悠
藤原 友輝 渡辺 瑛太				本庄 孝太郎 中西 來樹

男子団体戦　6

伊勢市立小俣中	三重	2－0	神奈川	横浜市立金沢中
原心之介 松本 准	2	21-17 21-15	0	長瀬 広祐 杉山 竣
坂口 貴嗣	2	23-21 21-10	0	田代 隼也
西山 駿成 加藤 孝翼	0	10-21 打切り	1	髙橋 葵 松岡 倖成

男子団体戦　7

勝山市立 勝山北部中	福井	2－1	和歌山	湯浅町立湯浅中
野村 雅人 宮川 力也	2	21-16 21-15	0	前田 晴生 松下 陽
田中 天祥	1	21-15 15-21 18-21	2	岡田 翔月
鎌田 塁斗 田中 陽悠	2	21-11 21-15	0	信定 樹輝 平嶋 楓真

男子団体戦　8

青森山田中	青森	2－1	福岡	九州国際大学 付属中
川崎 航生 石沢 太一	0	17-21 18-21	2	菅 剛大 坂本 大地
大澤 達也	2	21- 9 21-11	0	川上 翔大
佐藤 文祐 豊田 寛栄	2	21-12 21-15	0	坂井 大迪 原口 阜磨

男子団体戦　9

福島県立 ふたば未来学園	福島	2－0	岐阜	池田町立池田中
中静 悠斗 藤吉 珠李	2	21- 7 21- 8	0	遠藤 稜己 河村 竜磨
松川 健大	2	21- 3 21-14	0	勝野 友理
江見 友希 山城 拓也				野原 皓斗 水上 奏汰

男子団体戦　10

長崎市立日見中	長崎	2－0	埼玉	蓮田市立 蓮田南中
後藤 洸太 吉次 和義	2	21-18 21-11	0	初鹿野 桜佑 中田 樹来
草ノ瀬 悠生	2	21- 7 21-14	0	千葉 太一
増田 大輝 村川 翔真				大熊 辰弥 片山 昂大

男子団体戦　11

福岡市立能古中	福岡	2－1	京都	長岡京市立 長岡第三中
小林 紀博 仲里 悠成	2	21- 7 21-14	0	山本 裕介 河合 希空
中村 励心	0	11-21 9-21	2	木根 知哉
高田 隆誠 山﨑 琉生	2	21- 8 21-15	0	笹井 結斗 笠谷 啓人

男子団体戦　12

福井工業大学 附属福井中	福井	2－1	東京	淑徳巣鴨中
南 智郎 松井 優斗	0	18-21 18-21	2	江口 幸輝 伊東 真輝
山田 琉碧	2	21-13 21-11	0	加藤 瑛之
川端 実康 佐藤 海翔	2	21-13 21-14	0	福島 幸輝 鈴木 泰芽

男子団体戦　１３

聖ウルスラ学院 英智中	宮城	２－０	島根	松徳学院中
髙橋陽人 根本舜生	2	21-13 21-11	0	奥田瑛斗 福島陽人
髙木慎二郎	2	21-19 21-15	0	黒川真哉
林優太 石原慶悟		11-9 打切り		藤原友輝 渡辺瑛太

男子団体戦　１４

高松市立協和中	香川	２－０	三重	伊勢市立小俣中
前田寛仁 新開佑澄	2	21-15 21-19	0	原心之介 松本准
安田翔	2	21-9 21-2	0	カララルイズ
宇野夢人 土江浬				坂口貴嗣 西山駿成

男子団体戦　１５

埼玉栄中	埼玉	２－０	福井	勝山市立勝山北部中
有江琥珀 稲川蓮二郎	2	21-16 22-20	0	野村雅人 宮川力也
澤田修志	2	21-9 21-11	0	田中天祥
三浦大地 花井和紀				鎌田塁斗 田中陽悠

男子団体戦　１６

青森山田中	青森	２－０	北海道	旭川市立愛宕中
佐藤文祐 豊田寛栄	2	21-17 21-13	0	大山一樹 野藤流星
門井翔	2	21-11 21-8	0	堀川佳都稀
大澤達也 川崎航生		4-1 打切り		川田光太 中塩爽太

男子団体戦　１７

福島県立 ふたば未来学園	福島	２－０	長崎	長崎市立日見中
江見友希 山城拓也	2	21-13 16-21 21-11	1	草ノ瀬悠生 吉次和義
川野寿真	2	21-15 21-15	0	村川翔真
中静悠斗 藤吉珠李		10-4 打切り		増田大輝 左村都之助

男子団体戦　１８

福井工業大学 附属福井中	福井	２－１	福岡	福岡市立能古中
南智郎 松井優斗	0	13-21 20-22	2	小林紀博 仲里悠成
山田琉碧	2	21-9 21-8	0	中村励心
川端実康 佐藤海翔	2	21-18 22-20	0	高田隆誠 山﨑琉生

男子団体戦　１９

聖ウルスラ学院 英智中	宮城	２－１	香川	高松市立協和中
髙橋陽人 根本舜生	2	21-19 21-14	0	前田寛仁 新開佑澄
髙木慎二郎	0	10-21 14-21	2	安田翔
林優太 石原慶悟	2	21-18 21-15	0	宇野夢人 土江浬

男子団体戦　２０

埼玉栄中	埼玉	２－０	青森	青森山田中
有江琥珀 稲川蓮二郎	2	21-9 21-14	0	佐藤文祐 豊田寛栄
三浦大地	2	22-20 21-16	0	大澤達也
澤田修志 花井和紀		0-2 打切り		川崎航生 石沢太一

男子団体戦　２１

福島県立 ふたば未来学園	福島	２－０	福井	福井工業大学 附属福井中
中静悠斗 藤吉珠李	2	21-13 21-12	0	南智郎 松井優斗
松川健大	2	21-14 17-21 21-16	1	山田琉碧
江見友希 山城拓也	1	21-16 2-3 打切り	0	川端実康 佐藤海翔

男子団体戦　２２

埼玉栄中	埼玉	２－０	宮城	聖ウルスラ学院 英智中
有江琥珀 稲川蓮二郎	2	21-13 21-19	0	髙橋陽人 根本舜生
澤田修志	2	21-15 21-7	0	髙木慎二郎
三浦大地 花井和紀				林優太 石原慶悟

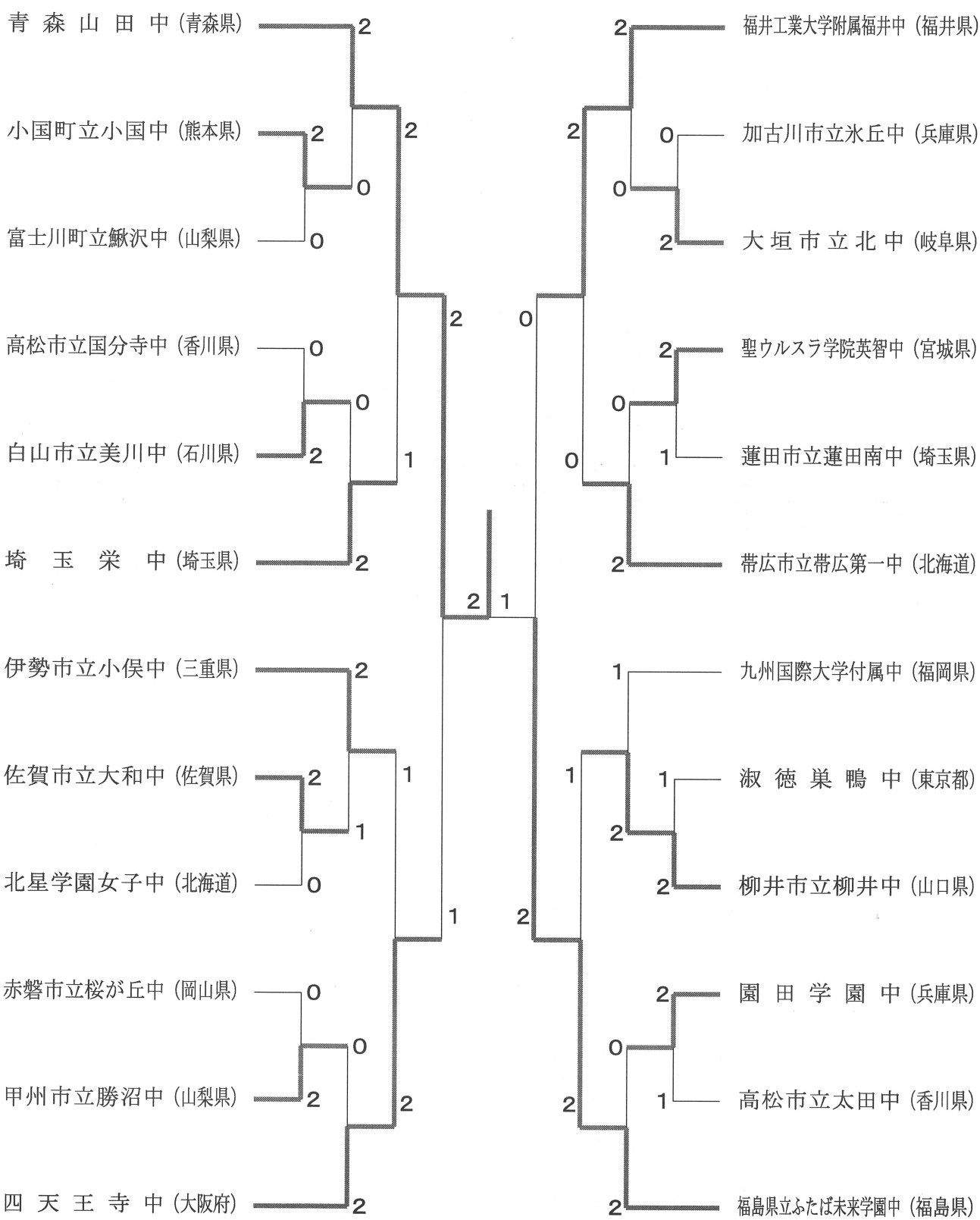
男子団体戦　２３

埼玉栄中	埼玉	２－０	福島	福島県立 ふたば未来学園
有江琥珀 稲川蓮二郎	2	23-21 27-25	0	中静悠斗 藤吉珠李
三浦大地	1	21-18 20-22 8-9 打切り	1	松川健大
澤田修志 花井和紀	2	21-14 21-7	0	江見友希 山城拓也

令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２０日－２１日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

女子団体戦



女子団体戦　1

小国町立小国中	熊本	2－0	山梨	富士川町立鰍沢中
佐藤ゆめ 工藤栞奈	2	21-10 21- 7	0	渡辺杏 小林鈴
塩山あさひ	2	21-18 10-21 21-16	1	望月愛生
東愛華 宮崎叶	1	21-13 打切り	0	保坂梨乃音 大谷優月

女子団体戦　2

白山市立美川中	石川	2－0	香川	高松市立国分寺中
榮代結子 本田乙葉	2	21-17 21-13	0	赤澤友香 西谷柚奈
澤村実玖	2	21- 9 21- 9	0	藤本遥花
児玉ひなた 新谷妃菜		3- 0 打切り		藤川夏妃 白井裡椰

女子団体戦　3

佐賀市立大和中	佐賀	2－0	北海道	北星学園女子中
髙田亜美 堀田菜々花	2	21-18 21-15	0	愛澤琉衣 水戸ひより
中村夏穂	2	21- 9 21- 7	0	土田琴嶺
前山夏里奈 楠原世音		8- 5 打切り		能登絢花 田口若菜

女子団体戦　4

甲州市立勝沼中	山梨	2－0	岡山	赤磐市立桜が丘中
内田希杏 飯島千佳	2	21- 7 21-10	0	岡田明奈 坂手美央
千野柚季	2	21-19 24-22	0	金森愛里紗
丹澤明 佐野渚		8-11 打切り		竹光華姫 道満陽香

女子団体戦　5

大垣市立北中	岐阜	2－0	兵庫	加古川市立氷丘中
外山乃彩 山下真依	2	21- 6 21-10	0	梅谷彩加 砂原沙和
山下紗依	2	21-16 21-14	0	中島初峯
早野滴 河合莉子		11- 4 打切り		伊藤瑚白 丸尾心澪

女子団体戦　6

聖ウルスラ学院英智中	宮城	2－1	埼玉	蓮田市立蓮田南中
名倉蓮 根立莉苑	2	22-20 21-19	0	八嶋未來 髙橋夢和
山辺彩由里	1	21-13 19-21 8-21	2	榎本紗楓
戸上凛 木村ひなの	2	21- 8 21-14	0	白鳥玲菜 海津希颯

女子団体戦　7

柳井市立柳井中	山口	2－1	東京	淑徳巣鴨中
田原日葵 本田花笑	0	14-21 13-21	2	鈴木あいり 篠原那奈
宮崎友花	2	21-13 21-16	0	山口祐香
西田優 大西絢心	2	21-15 19-21 21- 8	1	田中珠聡 高橋乃愛

女子団体戦　8

園田学園中	兵庫	2－1	香川	高松市立太田中
古西葵衣 植田杏奈	0	20-22 14-21	2	原田そよか 山岡千莉
杉原亜美	2	21-10 21-17	0	間島ちひろ
當銘純奈 秋田眞優	2	21-15 21-19	0	細井優珠 原田ひなた

女子団体戦　9

青森山田中	青森	2－0	熊本	小国町立小国中
平本梨々菜 広瀬万倫	2	21-16 21-15	0	佐藤ゆめ 工藤栞奈
横内美音	2	21-18 21- 9	0	塩山あさひ
石川乃乃葉 坂本愛依				山本ひなの 佐藤あかり

女子団体戦　10

埼玉栄中	埼玉	2－0	石川	白山市立美川中
上野凛 垣内杏南	2	27-25 13-21 21-15	1	榮代結子 本田乙葉
高津愛花	2	21-11 21- 9	0	澤村実玖
田中美衣 阿部果凛	1	21-16 6- 6 打切り	0	児玉ひなた 新谷妃菜

女子団体戦　11

伊勢市立小俣中	三重	2－1	佐賀	佐賀市立大和中
奥村紗羽 藤井栞	0	10-21 13-21	2	中村夏穂 髙田亜美
中西香菜	2	21- 6 21- 9	0	八坂三来
池内暖 橘爪香英那	2	21-19 23-25 21-17	1	前山夏里奈 楠原世音

女子団体戦　12

四天王寺中	大阪	2－0	山梨	甲州市立勝沼中
玉木亜弥 前田早稀	2	21- 8 21-14	0	内田希杏 飯島千佳
神尾朱理	2	13-21 22-20 21-14	1	千野柚季
池田美和 原田小雪	1	21- 8 8- 2 打切り	0	佐野渚 丹澤明

女子団体戦　１３

福井工業大学附属福井中	福井	２－０	岐阜	大垣市立北中
野坂侑李 森阪真衣	2	21-17 21-16	0	外山乃彩 山下真依
松田仁衣菜	2	21-5 21-7	0	河合莉子
森阪美穂 水元蓮華		8-5 打切り		山下紗依 早野滴

女子団体戦　１４

帯広市立帯広第一中	北海道	２－０	宮城	聖ウルスラ学院英智中
末永萌々歌 上山怜来	2	21-18 21-17	0	根立莉苑 菅井理央
金谷心美	2	21-14 13-21 21-13	1	名倉蓮
中島優衣奈 及川沙来杏		9-12 打切り		戸上凛 木村ひなの

女子団体戦　１５

柳井市立柳井中	山口	２－１	福岡	九州国際大学付属中
田原日葵 本田花笑	0	12-21 18-21	2	本田希藍 東野有咲
宮崎友花	2	21-16 21-10	0	栗山陽菜
西田優 大西絢心	2	19-21 21-14 21-16	1	原口樹璃 住田菜々子

女子団体戦　１６

福島県立ふたば未来学園	福島	２－０	兵庫	園田学園中
山北眞緒 山本優愛	2	15-21 21-19 21-15	1	古西葵衣 植田杏奈
秋田まな	2	21-7 21-15	0	杉原亜美
平田涼 溝尾花奈	1	21-11 5-7 打切り	0	當銘純奈 秋田眞優

女子団体戦　１７

青森山田中	青森	２－１	埼玉	埼玉栄中
平本梨々菜 広瀬万倫	2	19-21 21-19 21-16	1	上野凛 垣内杏南
東谷悠妃	0	9-21 18-21	2	高津愛花
横内美音 石川乃乃葉	2	21-17 21-14	0	田中美衣 阿部果凛

女子団体戦　１８

四天王寺中	大阪	２－１	三重	伊勢市立小俣中
玉木亜弥 原田小雪	2	21-7 21-10	0	奥村紗羽 藤井栞
池田美和	0	18-21 14-21	2	中西香菜
前田早稀 神尾朱理	2	21-12 21-9	0	池内暖 橋爪香英那

女子団体戦　１９

福井工業大学附属福井中	福井	２－０	北海道	帯広市立帯広第一中
野坂侑李 森阪真衣	2	14-21 21-8 21-7	1	末永萌々歌 上山怜来
松田仁衣菜	2	21-14 21-13	0	金谷心美
森阪美穂 髙嶋莉奈		11-15 打切り		中島優衣奈 及川沙来杏

女子団体戦　２０

福島県立ふたば未来学園	福島	２－１	山口	柳井市立柳井中
山北眞緒 山本優愛	2	21-18 21-15	0	田原日葵 本田花笑
秋田まな	0	11-21 13-21	2	宮崎友花
平田涼 溝尾花奈	2	22-20 17-21 21-18	1	西田優 大西絢心

女子団体戦　２１

青森山田中	青森	２－１	大阪	四天王寺中
石川乃乃葉 坂本愛依	0	16-21 9-21	2	玉木亜弥 前田早稀
横内美音	2	21-19 19-21 21-13	1	神尾朱理
平本梨々菜 広瀬万倫	2	21-14 21-15	0	池田美和 原田小雪

女子団体戦　２２

福島県立ふたば未来学園	福島	２－０	福井	福井工業大学附属福井中
山北眞緒 山本優愛	2	10-21 21-14 21-8	1	野坂侑李 森阪真衣
秋田まな	2	21-19 21-11	0	松田仁衣菜
平田涼 溝尾花奈				森阪美穂 髙嶋莉奈

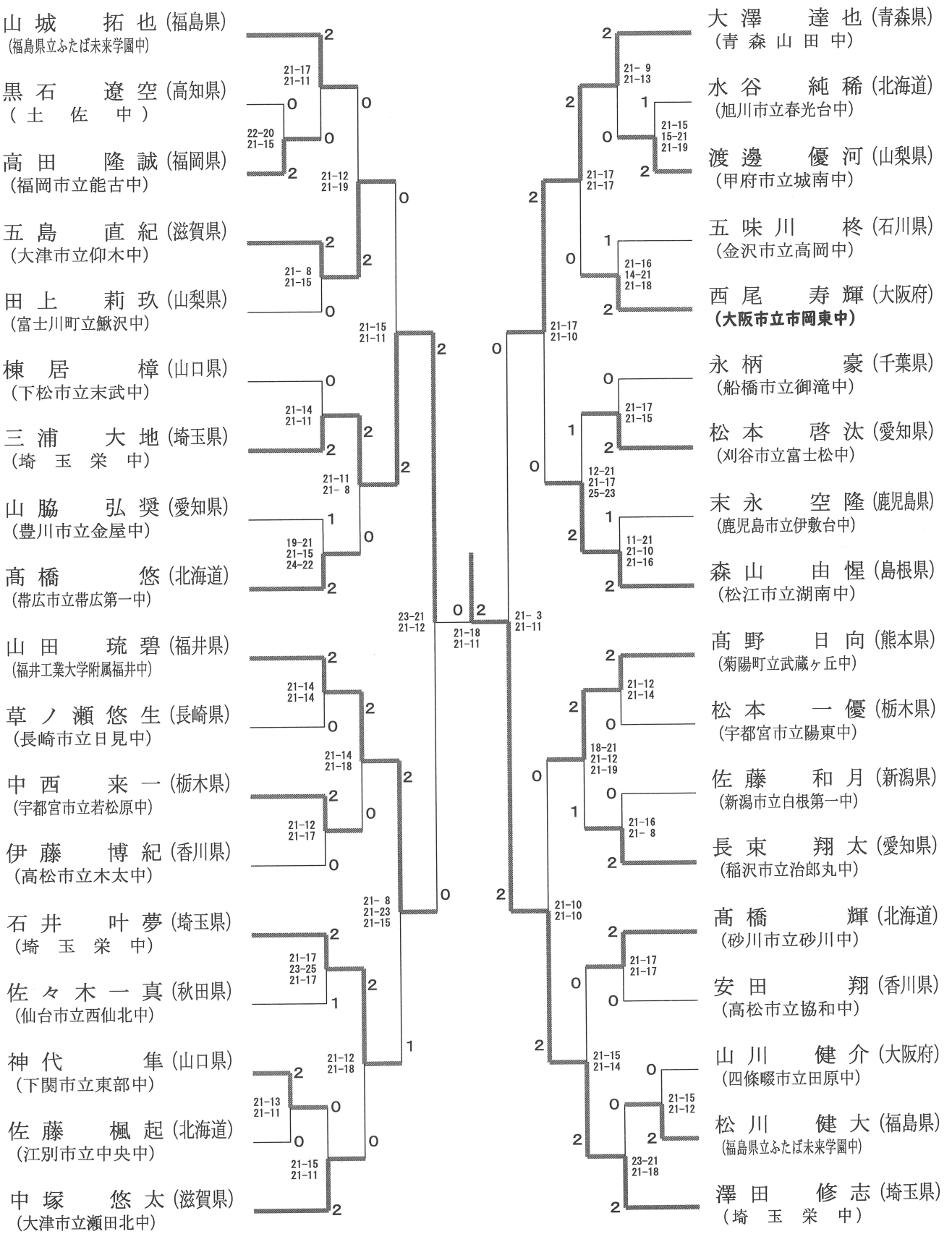
女子団体戦　２３

青森山田中	青森	２－１	福島	福島県立ふたば未来学園
平本梨々菜 広瀬万倫	2	21-18 21-18	0	山北眞緒 山本優愛
東谷悠妃	0	13-21 16-21	2	秋田まな
横内美音 石川乃乃葉	2	21-15 21-18	0	平田涼 溝尾花奈

令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２１日－２３日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

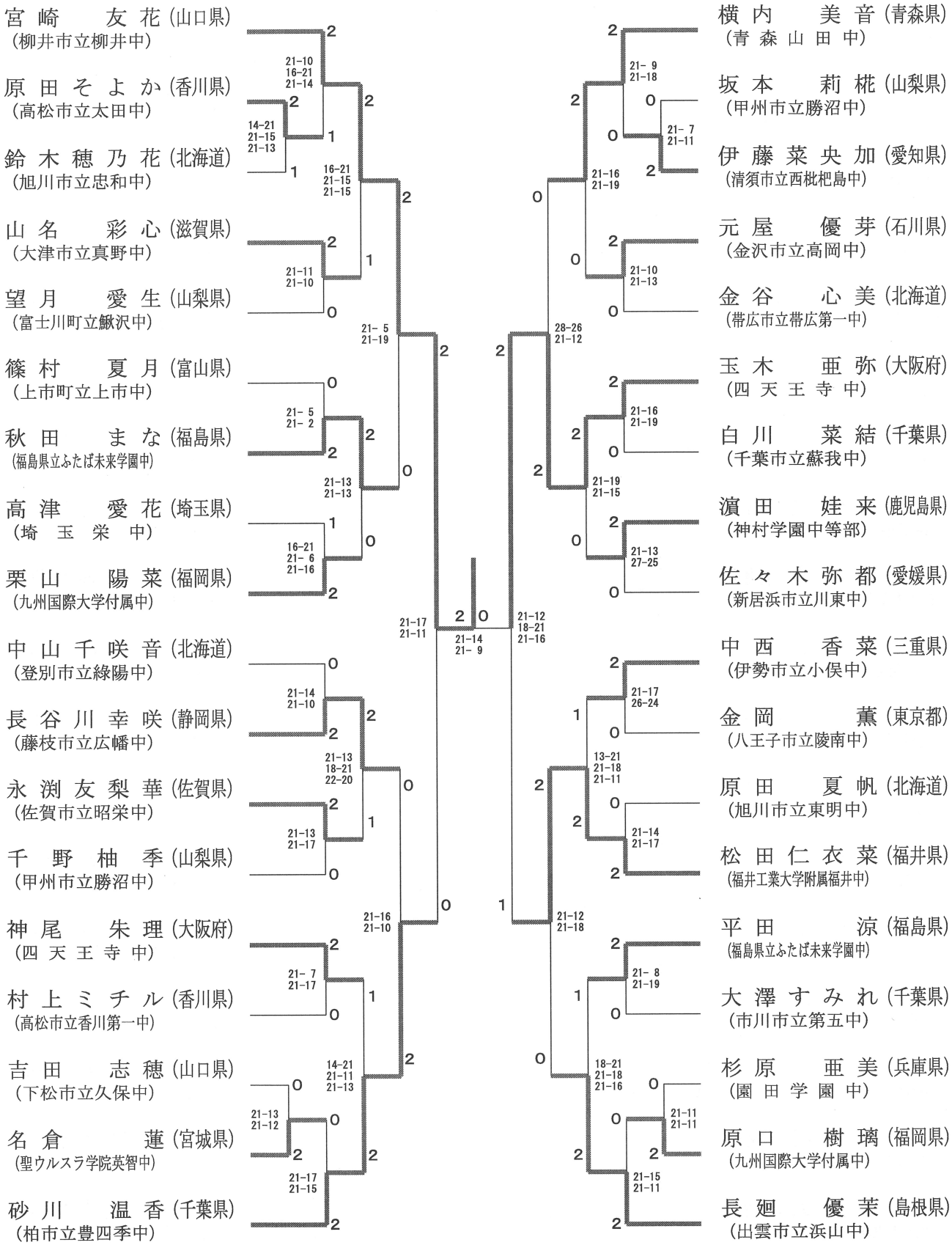
男子シングルス



令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２１日－２３日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

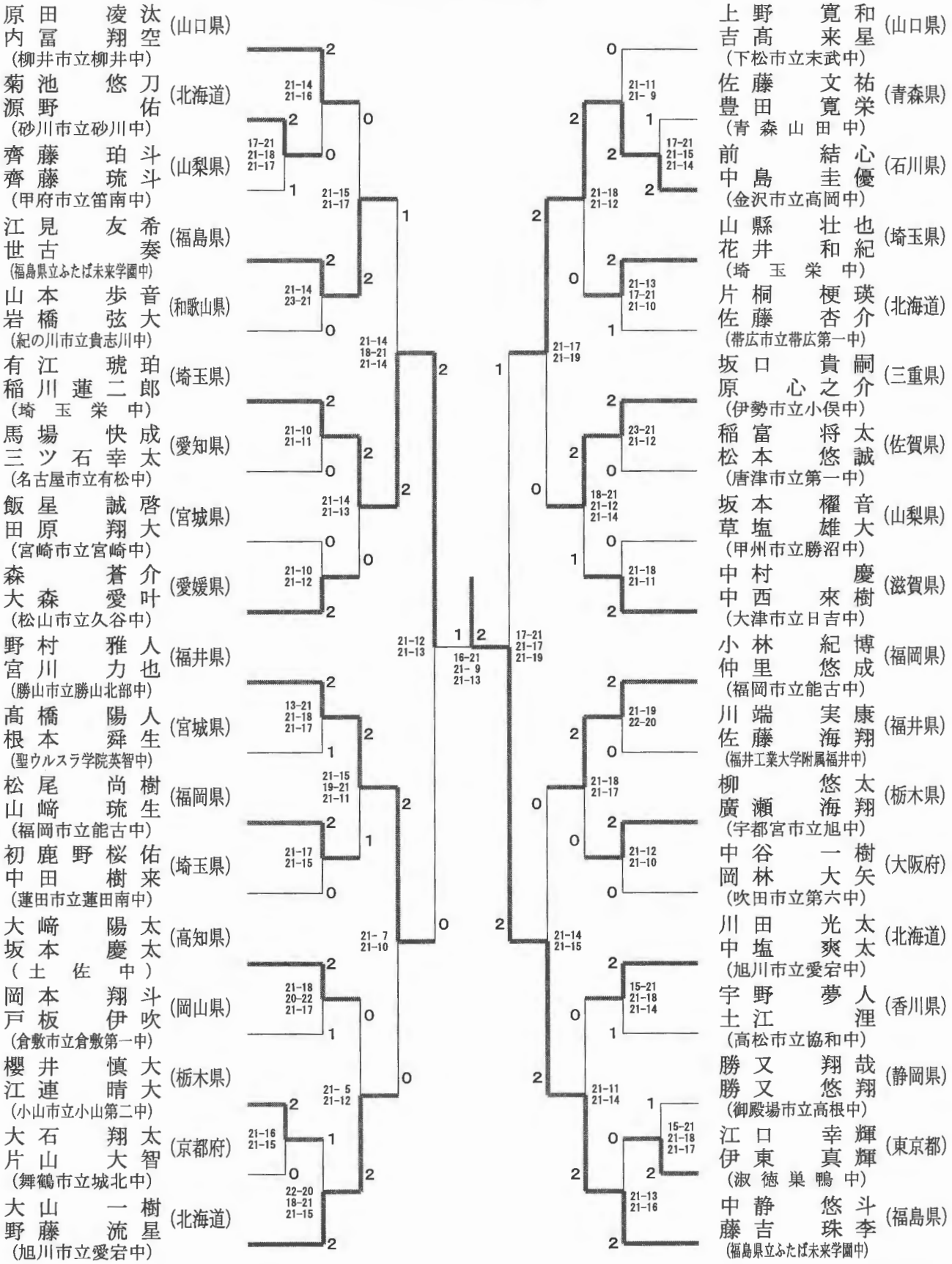
女子シングルス



令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２１日－２３日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

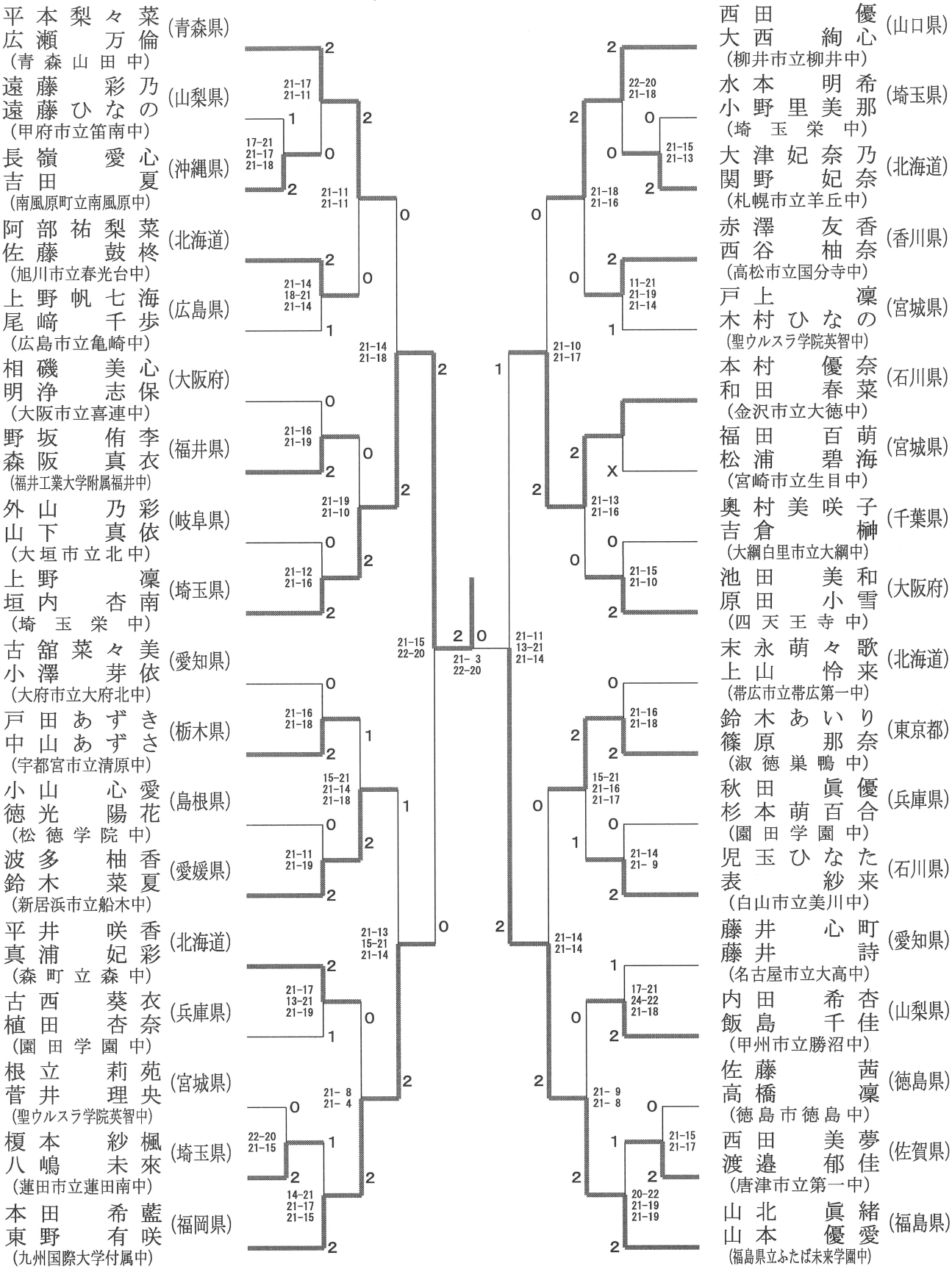
男子ダブルス



令和３年度 第51回全国中学校バドミントン大会　試合結果

令和３年８月２１日－２３日
山梨県小瀬スポーツ公園体育館

女子ダブルス



全国大会を終えて

男子団体優勝　埼玉栄中学校　三浦　大地

今回の全中を一言で表すと、「感謝」です。新型コロナウイルスの影響で去年の全中など、多くの大会が中止になり悔しい思いをしました。そんな中、今年は全中が開催されました。

大会開催にご尽力くださった方々に感謝しています。そしてアドバイスなどをしてくださった先生方や毎日相手をしてくださった高校生、何より無観客開催の中でいろいろ支えてくださった保護者の方々へ、感謝の気持ちを持って一試合一試合挑みました。

私は、今の高校一年生がいなくなりキャプテンになりました。三月の全日本中学生では福島県に負けてベスト８という、とても悔しい思いをしました。そこで、全中で優勝するためには、もっと練習の質を上げることが大事だと感じました。それまでの私自身も練習を怠けることがありました。しかし、全日本中学生で悔しい思いをして、私が練習の時からみんなに声を掛けたり、時には注意することもありました。チーム全員が「全中団体優勝」を目標に毎日練習に励んでいきました。団体メンバーに入れなかった仲間や、去年全中に出れなかった先輩方の思いを背負い、チーム一丸となって戦った結果が６年ぶりの優勝に繋がったと思います。そして、今まで支えてくださった方々に恩返しができたのかなと思います。

私たちのことを支えてくださる方々がいるのは、当たり前ではないことを忘れずに感謝の気持ちを持って、今後もバドミントンに一生懸命取り組んでいきたいです。

全国大会を終えて

男子シングルス優勝　埼玉栄中学校　澤田　修志

僕はまず、このコロナ禍の状況で大会の開催に向けて尽力して下さった皆さんに感謝したいと思います。次々と大きな大会が開催中止となり、もしかしたらこの全中も中止になるかもと不安な気持ちになりました。大会が開催されなければ、今、自分はどれくらいの力があるのか試すことができませんでした。本当に開催してくれたことに感謝しています。

そして迎えた大会当日、まずは団体戦でした。三年生たちと共に戦う最後の夏の大一番。僕はとてもワクワクしていました。そして決勝進出を果たし、相手はライバルふたば未来。僕は第二ダブルスを任されました。自分たちが勝てば正直勝てると思っていました。それだけ第一ダブルスと第二ダブルスの選手に信頼感がありました。結果、第一ダブルスが接戦を制し、僕たちも勝利を収め、優勝に貢献することができ、とてもうれしかったです。この時、すでに個人戦との二冠を狙っていました。個人戦は大会前から同じ学校の三浦先輩とやりたいと思っていたら、本当に現実となったのです。僕は初回戦から二年生ということで向かっていくだけだと思っていたので、気持ちが楽でした。そのチャレンジャー精神が優勝という結果に結びついたと思います。

本当に自分をここまでの選手に育ててくれた監督とコーチ、共に戦ってくれたチームメート、それから家族のみんなに心から感謝したいです。本当にありがとうございました。これからも、もっと成長して世界で活躍できるような選手になりたいです。その為に、練習では妥協せず、いつも大会を想定した練習をしていきたいです。

全国大会を終えて

男子ダブルス優勝　ふたば未来学園中学校　中静　悠斗

今大会は2年ぶりの開催となり、私は昨年大会に出場できなかった3年生の思いを背負って臨んだ大会でした。

久しぶりの全国の舞台はなかなか会場の環境に慣れず雰囲気に飲み込まれることもありましたが、なんとか勝ち進んでいきました。

団体戦の決勝はライバル校の埼玉栄でした。相手の勢いに押され、攻めることが出来ず、勝たなくちゃいけないというプレッシャーで空回りしてしまいました。日本一をとる事はとても難しく優勝までの道のりはとても険しいということを改めて感じました。

しかし、日本一をとりたいという強い思いが私を突き動かしてくれました。個人戦でも何度も苦しい場面がありましたが、このままでは終われない、これまでやってきたことを全て出し尽くすんだと思いコートに立ち続けました。決勝では受け身になることなく、挑戦者の気持ちで最後まで戦い抜き優勝することが出来ました。チャレンジャーになると口では簡単に言えますが、行動に移すことの難しさを痛感しました。

全中を最高の戦いで終えることが出来たのは日頃、支えてくれた沢山の方々のおかげです。感謝の気持ちを胸にこれから頑張りたいと思います。

全国大会を終えて

男子ダブルス優勝　ふたば未来学園中学校　藤吉　珠李

昨年中止になった全国大会が、徹底された感染対策のもと二年ぶりに開催されました。

オリンピックやインターハイで活躍する先輩の姿に刺激を受け、昨年の三年生の分まで頑張ろうという気持ちで大会に臨みました。

団体戦は決勝まで勝ち進み、ライバルである埼玉栄中と対戦となりましたが、最高のチャレンジができずに負けてしまいました。「この悔しさを個人戦にぶつけて、絶対優勝しよう」とパートナーと約束しました。個人戦最終日、準決勝を何とか勝ち切り、迎えた決勝戦。相手は団体戦で敗北した埼玉栄のペアでした。一ゲーム目を奪われ、追い込まれた状況でしたが「もうやるしかない」と開き直りました。更にパートナーからの「俺が前に行くから後衛は頼む」との言葉に不安や迷いは消えてやるべきことが見えました。気持ちもプレーも良い勢いで二ゲーム目を奪って最終ゲームをリードしたまま迎えたマッチポイント。私がサーブレシーブを打ち、その球を相手がネットにかけて点が入りました。優勝を決めた瞬間は毎日の努力が報われた気がして涙が止まりませんでした。ずっと見たかった頂の景色は言葉に表せないほどの絶景でした。

この大会で苦しいことから逃げずに努力することの大切さや支えてくれている人がいることの有難さを改めて感じることができました。これからもこの日の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいです。

全国大会を終えて

女子団体優勝　青森山田中学校　横内　美音

今年こそは団体優勝することをチームの目標に掲げ、きついことも妥協せず、全員で頑張ってきました。感染症の影響もあり、練習が思うようにできず苦しい期間もありましたが、声をかけ合い、たくさんの困難を乗り越えて全国大会に臨みました。

大会が始まってからは、目の前の一試合一試合に集中して戦うことができましたが、準々決勝からとても苦しい戦いになりました。埼玉栄中学校に第一ダブルスが先に一ゲームを失い、二ゲーム目も17-19 とリードされるピンチを迎えましたが、なんとか逆転。ポイントを取ってくれた勢いで第二ダブルスも取ることができました。

準決勝は四天王寺中学校と対戦し、二コート展開となり、第一ダブルスが取られてシングルスが取らなければ負けてしまう状況でしたが、皆が応援してくれたお陰でなんとか勝つことができました。

決勝は東北大会でも対戦したふたば未来学園中学校でした。東北大会では勝つ事ができましたが、相手は連覇もかかっている強いチームなので私たちはチャレンジャーの気持ちをもって戦いました。試合は三コート展開で、シングルスはメンバーで唯一の二年生の東谷が挑み、最後まで粘り強く戦いましたが取られてしまいました。第二ダブルスは途中苦戦しましたが最後までシャトルを追いかけ、ポイントをとることができました。最後はエースダブルスに勝負がかかりました。一ゲームは取り、二ゲーム目は 10-14 とリードされていましたが、私達は負ける気がしませんでした。なぜならこのダブルスは普段の練習からほとんど逆転で勝ってきたからです。最後まで苦しい試合でしたが、全員が最後まで諦めずに頑張った結果だと思います。青森山田中学校としてもずっと目標にしてきた初優勝でした。このような結果を出せたのは、指導してくださった先生方、練習相手をしてくれた先輩、切磋琢磨し合ったチームメイト、いつも励ましてくれる家族や寮母さん、たくさんの人が支えてくださったお陰です。少しはそういう方々に恩返しができたと思います。

コロナ禍で昨年度は中止となったこの全国大会。今年も開催に至るまで多くの方のご尽力があったと思います。難しい状況下で大会を開催してくださった方々へも感謝しています。この舞台を用意してくださり、本当にありがとうございました。この大きな経験を糧にさらに強くなれるよう頑張っていきたいと思います。

夢への第一歩

女子シングルス優勝　柳井市立柳井中学校　宮崎　友花

私は、この全中のために一日一日を大切にしてきました。団体戦では、初日三年生みんなで支え合い勝ち上がることができました。しかし、二日目の準々決勝で惜しくも負けてベスト８という結果でした。悔しい思いでいっぱいでしたが、チームのみんなのためにも個人戦で絶対に優勝し金メダルをとると心に決めました。 そして、いよいよ個人戦。何があっても絶対諦めないという思いで試合に挑みました。一、二試合目はプレッシャーにおされて、自分のプレーがなかなかできず、何度もくじけそうになりました。けれど、そんな時、先生のかけてくれるアドバイスや、観客席から聞こえてくるチームメイトの拍手の音、応援してくれる友だちや家族のことを思い出し、なんとか勝ちきることができました。そして、迎えた最終日、準決勝。私は全国大会で二位以上になったことがなかったので、ここから先は新しいチャレンジでした。疲れがたまって足が痛かったけど、「心に決めたことを絶対に実現したい」という強い気持ちが勝り、体が自然と動いてくれました。そして、夢にみた決勝の舞台。今までと違ってやってきたことに自信をもつことができました。どんな球でも絶対に拾うんだという強い気持ちを忘れず、冷静に戦略を考え、自分のプレースタイルを貫くことができました。優勝した瞬間はとにかく嬉しかったです。駆け寄ってきたチームメイトを見たら涙が止まりませんでした。

この優勝は今までたくさんのことを教えてくださった先生方やコーチの方々、そして柳井商工の先輩方、コロナのために会場まで一緒に来られなかったチームメイトのおかげです。本当に全ての人たちに感謝しています。試合の後にかけてもらった「おめでとう」「お疲れ様」というたくさんの言葉は一生忘れられない大切な宝物です。私はこの全国大会を通過点として、目標であるオリンピック金メダルを目指して、努力を重ねたいと思います。そして、一人でも多くの人に応援してもらえる選手になれるよう、感謝の気持ちを忘れず、これからも一歩一歩一球一球頑張りたいと思います。

最後に、コロナ禍で開催も難しい中４日間この全国大会を運営してくださった山梨県の皆様、本当にありがとうございました。

憧れの日本一

女子ダブルス優勝　埼玉栄中学校　上野　凛

私にとってこの全中はとても大切で、初めての全国大会であり、貴重な経験でした。私たち埼玉栄中学校の目標は、全国優勝でした。ですが、団体戦はあと２点取れば勝利というところで逆転され、結果はベスト８で終わってしまいました。試合後のチーム皆が流していた悔し涙をみて私たちが絶対リベンジすると、とても強く思いました。

ついに３日目、個人戦が始まりました。そして、ベスト４決め。相手は団体戦で負けた青森山田中学校のペアでした。パートナーとも話し合い「笑顔で楽しもう」と決め、私たちは挑戦者の気持ちで挑みました。何度も気持ちが折れかけた所もあったけど、チームの皆やパートナーの背中を見て勝つという気持ちが大きくなりました。１年生から組み始め、何度もぶつかり、泣いて、たくさん嫌なこともあったけど、そんなパートナーだったからこそ、尊敬し信頼できる仲間です。

そして決勝戦。試合前もチームの皆が一生懸命サポートや応援してくれて、恩返しするためにも勝つしかないと決め、コートに入りました。

この日本一は先生、コーチ、保護者の方々、そして埼玉栄中学校の皆がいたから成し遂げられた優勝です。この感謝の気持ちを忘れず、高校生になっても、インターハイ優勝を目指して頑張っていきたいと思います。

掴んだ栄光

女子ダブルス優勝　埼玉栄中学校　垣内　杏南

一年生のころに見た全中の舞台、試合をやっている選手はみんな輝いていました。その光景を見て三年生になったら自分もこの舞台に立ちたいなと思うようになりました。

そして、始まった団体戦。初戦から苦しい試合になり自分達の思うようなプレーができませんでした。しかし、挫けている暇はないと挑んだ青森山田との戦い。あと二点を取れば勝てるというところでミスが連発。落ち着くことができずファイナルにもつれ込み、そのまま負けてしまいました。試合後、メンバーに申し訳ない気持ちと悔しさから溢れてくる涙が止まりませんでした。その時、個人戦で絶対に優勝すると心に誓いました。

個人戦が始まり、出だしから好調でベスト４決めで団体戦で負けた相手とのリベンジマッチ。一ゲーム目から向かっていき、また団体戦と同じ二点差になりました。しかし、その時に二人で「ここ一本取るよ。」と声を掛け合い、仲間の応援を聞いて心を一つに無事に勝ち切ることができました。その勢いで準決勝、決勝どちらも二ゲーム目延長戦になりましたが我慢してラリーを続けラスト一本を決めた瞬間、応援してくれていた仲間の歓声が聞こえてやっと優勝したという実感が湧いてきました。

今までたくさん喧嘩もして、時には自分がペアでいいのか、今やっていることは正しいのか、悩むこともたくさんありました。でも、その沼から抜け出せたのは他でもなくペアの上野、そして一緒に練習してきた仲間達のおかげです。このメンバーで一緒にやってくることができて本当に良かったなと思います。

この大会を通じ、学んだことを胸にこれからも壁にぶつかることも絶対あるけれど挫けずに頑張っていこうと思いました。

山梨全中に出場して

山梨県　富士川町立鰍沢中学校　田上　莉玖

僕は、小学校の頃から「山梨全中」に出場することを目標に、これまで必死に練習してきました。ですが、昨年の夏、全国大会への思いは、更に強いものとなりました。その年は、団体戦で県大会優勝し、本来であれば、関東大会への出場となるところでした。しかし、新型コロナウイルスの影響で関東・全国大会が中止となり、目標としていた全国大会への道は閉ざされてしまい、本当に悔しくてたまりませんでした。この時僕は、来年こそは絶対に全国大会に出場したいという思いとなんとか来年こそは大会が実施されてほしいという願いがありました。そこから、日々の部活動での練習をはじめ、県の強化練習会等の活動に更に力を入れ、そのなかで様々な人たちに支えられながら少しずつ、自信をつけ、プレーを磨くことができました。全国大会への切符をかけた今年度の県総体では、緊張もありましたが、今まで練習してきたことを思い出しながら、強い気持ちをもって、試合に臨むことができました。そして、個人戦では、シングルスでなんとか優勝し、全国大会への切符を手にすることができました。開催されるか不安だった関東・全国大会が開催されると聞いて、本当に嬉しく思い、更に練習に力が入りました。関東大会では、県外の選手たちのレベルの高さを痛感するとともに、そんな選手たちと戦える喜びを感じました。そして迎えた全国大会当日。今まで何度も試合をしてきた会場にも関わらず、全く別の会場に感じるような雰囲気に、全国大会に出場するという実感が湧いてきました。そして今度は、全国のレベルの高い選手たちと戦えることに楽しみな気持ちを抑えきれませんでした。試合の結果は、二回戦敗退となりました。相手との確かな差を感じました。また、その後も審判をしながら全国トップの選手たちのプレーを間近で見て、とても刺激を受けました。

今回、この全国大会に出場して一番感じたことは、多くの方々の「支え」です。日々、一生懸命指導してくれた先生やコーチ、練習相手になってくれた先輩方、この全国大会に向けて強化をしてくださった専門部の先生方、一番近くで応援してくれた家族、そしてコロナ禍にも関わらず大会を開催してくださった大会関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。私は、この思いをこれからも忘れずに高校進学後もバドミントンに励み、再び全国大会を目指し、頑張っていきたいと思います。

改めて、大会を支えて下さったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

山梨全中を終えて

山梨県　甲州市立勝沼中学校　千野　柚季

山梨全中は、私の中学最後の大会でした。

新型コロナの感染が全国に広がり、大会が開催されるか、とても不安でした。しかし、多くの大会関係者の方のご努力とご支援のおかげで、貴重な経験をすることができました。これまでの練習の成果を発揮する場をいただき、心から感謝しています。

中学校に入学した時から、山梨全中を目指して練習に励んできました。顧問の先生には、毎日熱心に指導していただきました。時には高校生や社会人の方の胸を借りながら、技術面はもちろん、人間として大切な多くのことを学ぶことができました。全中の試合では、地元開催ということで、多くの方々に応援をしていただきました。それを力に変えて、仲間とともにコートに立ちました。

私たちのチームの目標は、「この場所でプレーできることと、これまで支えてくださった方々に感謝を込めて全力でプレーし、初戦を突破すること」でした。迎えた緊張の初戦。チームみんなで声をかけ合い、目標を胸に全力でシャトルを追いました。そして、見事初戦を突破することができました。続く２回戦は、強豪校との戦いでした。敗れはしましたが、最後まで自分たちのプレーを貫いて、善戦することができました。悔しさもありましたが、やりきったという達成感の方が大きく、仲間と清々しい笑顔で終えることができました。

今大会での経験は、私達にとって大きな自信になりました。私自身もキャプテンとして最後まで仲間を信じて戦うことができました。最後まで諦めない気持ちを持つこと、努力をし続けることの大切さを実感しました。そして何より、これまでの私達のバドミントン人生を支えてくださった、本当に多くの方々に感謝の気持ちを伝えたいです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、今大会で学んだことを胸に、多くの方に応援される選手になれるよう努力を続けていきたいと思います。

全国大会を終えて

第５１回全国中学校バドミントン大会実行委員会 事務局長　井田　正則
（山梨県小中学校体育連盟バドミントン専門部委員長）

山梨での全中開催が決まった時、私はバドミントン部がない学校に所属していました。以前、県専門部の委員長を務めていたこともありましたが、専門部からは数年離れていて、全中開催もいわば他人事でした。ところが、再びバドミントン部がある学校に異動することになり、全中開催が一気に身近なものとなりました。県委員長や顧問経験年数、年齢等からして全中事務局長をやらざるを得ない、いや、やるしかない状況はあっという間にできあがりました。

３年前のH30山口大会には私１人で、２年前のＲ１兵庫大会には組合せ会議に２名と大会に私ともう１名で視察に行かせていただきました。専門部役員こぞって視察に行くつもりでいた開催前年度のＲ２愛知県大会は残念ながらコロナ感染症拡大のために中止となってしまいました。コロナ禍での全国大会視察と山梨全中の開催についての提案のため、３月には全日中秋田大会にも伺わせていただき、山梨全中のイメージをふくらませました。

大会開催までは、日を追うごとに業務量が増えていく激務の日々でした。しかし、大会が始まり参加選手の躍動する姿や熱戦の様子に、大会を開催できてよかったとそれまでの苦労が報われました。

大会は感染症対策により、選手招集所を設けなかったり、開閉会式を行わなかったり、無観客での開催となる等の様々な制約もありました。例年とは違った対策が必要でしたが、コンパクトな開催になったことで山梨のような小規模県でも開催ができたとも言えます。一方で、大会後には大会参加者のコロナ感染の報告も受け、できる対策は行ってきたわけですが、コロナ禍での大会開催の難しさも感じるものともなりました。

山梨で全中が開催できたのも、多くの皆様のご協力のおかげです。

日本中体連・日本バドミントン協会の関係の皆様、競技部長の関根先生、顧問の小野先生。審判を派遣してくださった関東各都県の中体連専門部及びバドミントン協会の関係の皆様。過去の全中バド大会開催に関わった先生方、とりわけ兵庫県で事務局を務めた白井先生には、毎回の私からの質問にご丁寧に回答していただき大会開催に向けての力添えをいただき、頭が上がりません。山梨県教育委員会および甲府市教育委員会、山梨県小中体連および山梨県バドミントン協会の関係の皆様、また競技役員として各担当で尽力していただいた山梨県専門部の先生方、その他、関わっていただいたすべての皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度以降開催される全国大会の成功をお祈りし、また今回お力添えをいただいたように、今後の全国大会開催のサポートができればと思っています。


JPA